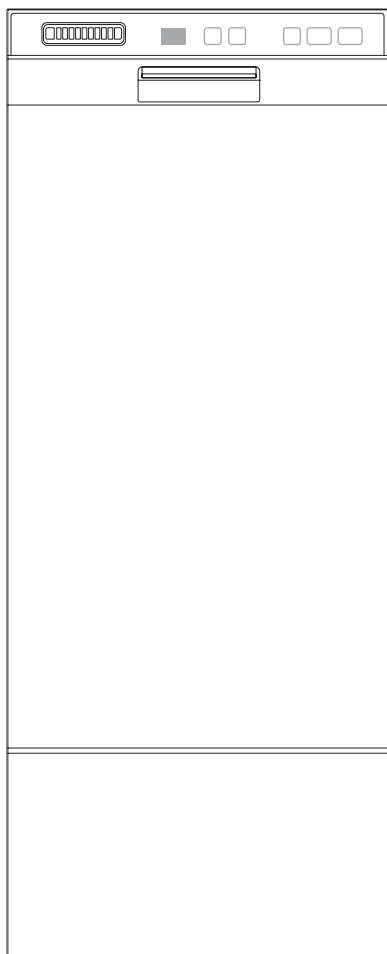


設置説明書

食器洗い乾燥機

型番 IDW-BMF301



この商品は海外ではご使用になれません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

設置される方へ

- 設置前に、「安全上の注意」をよくお読みになり、法律に基づいて正しく設置してください。
- 配管工事はすべて、水道法、建築基準法、各都市の条例規定に準じてください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この設置説明書にしたがって正しく取り付けてください。
- 設置終了後、必ず試運転を行ってください。
- 設置終了後、必ず「チェックリスト」にしたがって確認をしてください。
- 試運転終了後、安全のため配電盤のブレーカーはOFFにしないでください。
- 異常のないことを確認した後、この設置説明書はお客様にお渡しください。

■お客様へ

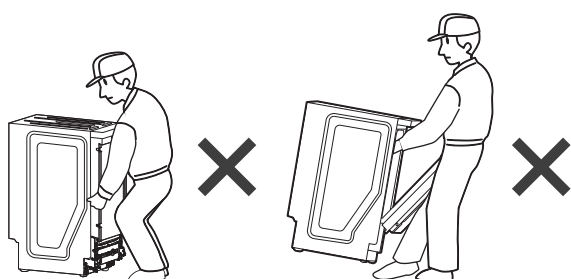
この設置説明書は、かんたん操作ガイド、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

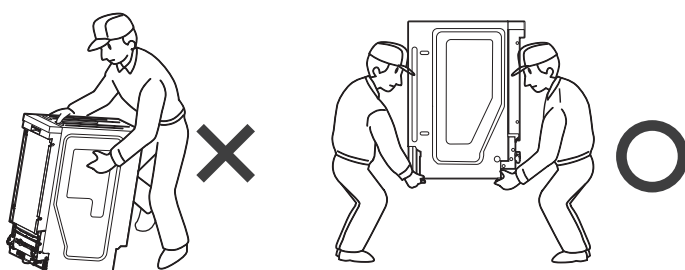
本体運搬時の注意.....	2
安全上の注意	3
各部の名称.....	4
製品寸法.....	5
付属品の確認	5
設置場所の確認.....	6
電気工事.....	8
給排水工事	9
設置	18
1 面材の取り付け	18
2 型紙の設置、設置金具取り付け	20
3 本体のビルトイン	21
4 移動防止金具前の取り付け	22
5 本体の高さ調整	24
6 ドア保持ばねの調整	25
7 ケコミカバーの取り付け	26
給排水接続	27
電気接続.....	36
試運転	36
異常報知について	37
所有者・お客様への説明.....	37
チェックリスト.....	38
仕様	裏表紙

本体運搬時の注意

- 本体にひざを当てて運ばないでください。
破損・変形のおそれがあります。



- 本体を引きずって移動しないでください。
床を傷付けたり、脚が破損したり、振動・異音が発生したりします。
- 必ず、2人以上で作業してください。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグおよび取付面にほこりが付着している場合はよく拭く
火災の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードを束ねて使用しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 食器洗い乾燥機を電源プラグに押しつけない
設置時は、食器洗い乾燥機で電源プラグを押しつけないように注意してください。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、絶対に自分で修理せず、アイリスコール（裏表紙）へお問い合わせください。

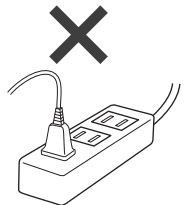
- 電源コードを傷付けない

- 電源コードを引っ張らない

傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込む、束ねるなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 延長コードは使用しない

過熱してやけど・火災の原因になります。



- コンセントを床面に設置、転がした状態で電源プラグを差し込み使用しない

火災・感電の原因になります。

設置について



- 設置時に電源コード、アース線、排水ホース、給水ホースを傷付けない
火災・感電・水もれの原因になります。



- 設置はお買い上げの販売店、または専門業者に依頼する
お客様自身で設置をされて不備があると水もれや感電・火災の原因になります。
- 食器洗い乾燥機の設置場所の傾きを1°以内に作る
万一水もれた場合、安全装置が作動せず、被害が大きくなる可能性があります。



アースを必ず接続

- アースを必ず取り付ける

故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。

- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない

爆発・火災の原因になります。



- 分解・修理・改造をしない

火災・感電・けが・事故の原因になります。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにお問い合わせください。



水ぬれ禁止

- 本体を水につけたりしない

火災・事故の原因になります。

安全上の注意 つづき



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 設置部品は必ず付属品および指定の部品を使用する
当社指定の部品を使用しないと、水もれ、火災、感電・漏電の原因になります。
- 製品の移動や設置時は手袋をして作業を行う
けがの原因になります。
- 給湯（給水）、排水配管の端面はバリのないよう処理する。かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除く
配管詰まりによる故障や、水もれの原因となります。
- 製品を電源から遮断する際は電源プラグを抜く、固定配線の中に専用ブレーカーがあるときは切る
感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電・ショート・発火の原因になります。



- 高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける
水もれの原因になります。

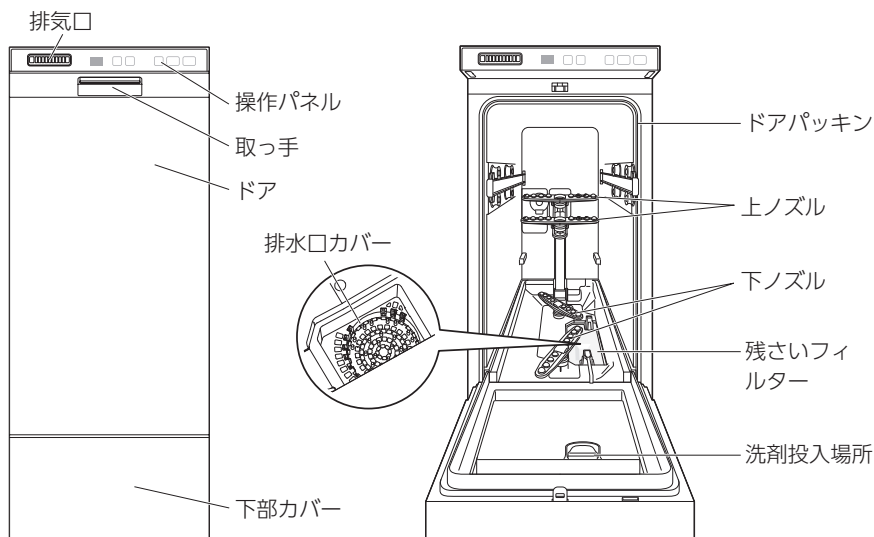


- 凍結のおそれがある場所（室温0℃以下）に設置しない
水もれの原因になります。
- 設置および試運転終了後、ブレーカーはOFFにしない
ブレーカーがOFFになっていると、水もれした場合、安全装置が作動せず、被害が大きくなることがあります。
- 元付け型の浄水器に接続しない
元付け型の浄水器に接続した場合、残留塩素濃度が0.1ppm未満となり屋内に給水される水が細菌などに汚染されるおそれがあります。※水道法の基準は0.1ppm以上
- 梱包を外すときは刃物を使用しない

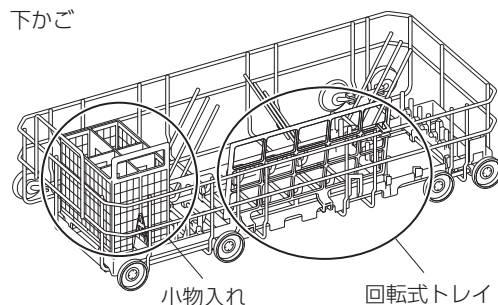
設置完了後、試運転を行い、異常がないことを確認し、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れを説明してください。

各部の名称

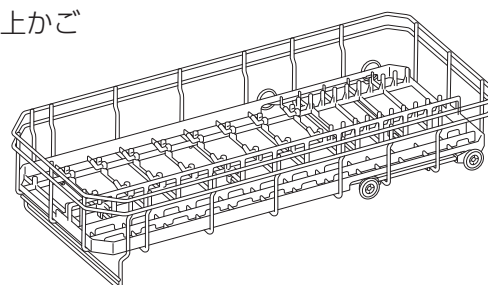
本体



下かご

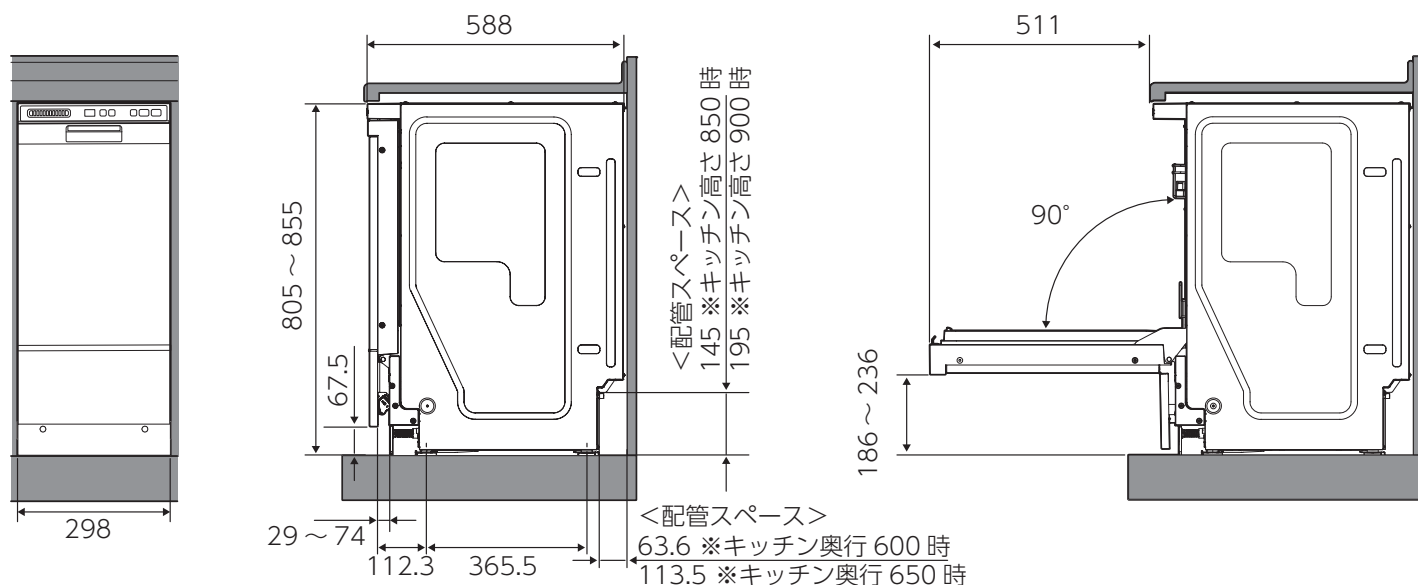


上かご



製品寸法

単位：mm



付属品の確認

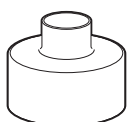
最初に、付属品がそろっていることをご確認ください。
万一足りないものがある場合は、アイリスコール（裏表紙）へご連絡ください。

設置に必要な付属品

転倒防止金具 転倒防止金具固定用 バインドφ5×16 タッピンねじ 4本 ×4	移動防止金具 移動防止金具固定用 トラスφ4×12 タッピンねじ 2本 ×2	移動防止金具前 移動防止金具前固定用 トラスφ4×10 金属用タッピンねじ 2本 ×2	
ケコミカバー ケコミカバー固定用 トラスφ4×16 タッピンねじ（黒） 2本 ×2	面材固定金具上側 4個 面材固定金具下側 2個 ×4 ×2	面材用長蝶番（厚さ15mm用） 面材用長蝶番（厚さ18mm用） ※どちらか片方使用する	面材金具固定用 薄トラスφ4×12 タッピンねじ 18本 面材固定用 トラスφ4×10 金属用タッピンねじ 4本 ×18 ×4

本体庫内に同梱

臭気止めパッキン



取扱説明書
かんたん操作ガイド
設置説明書（本紙）
設置用型紙

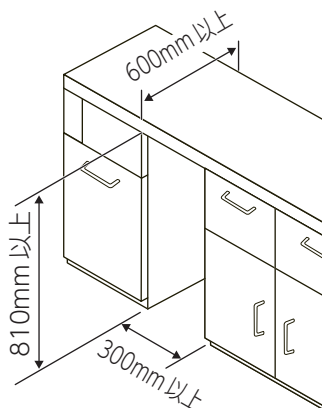
設置場所の確認

設置場所について



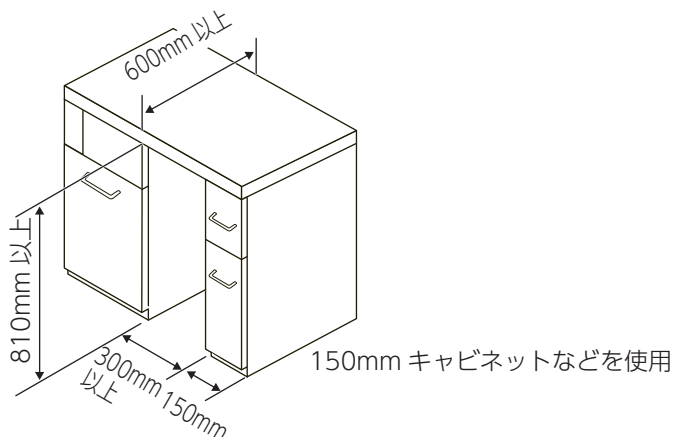
- 食器洗い乾燥機を設置する場所の後ろ側に配管などが通っている場合は、製品寸法 (P5) の配管スペースに配管などが収まっていることを確認してください。

中間にビルトインする場合



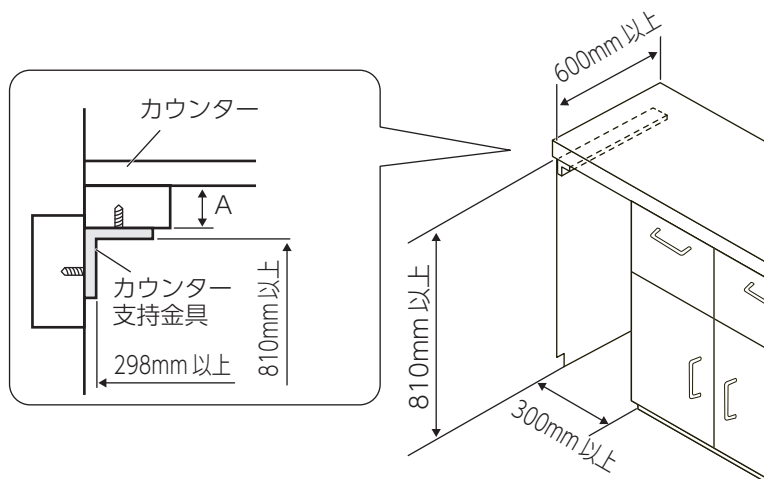
片側がフリーの場合

- ・片側がフリーの場合、幅150mm キャビネットなどを使用して、カウンターを支える処置をしてください



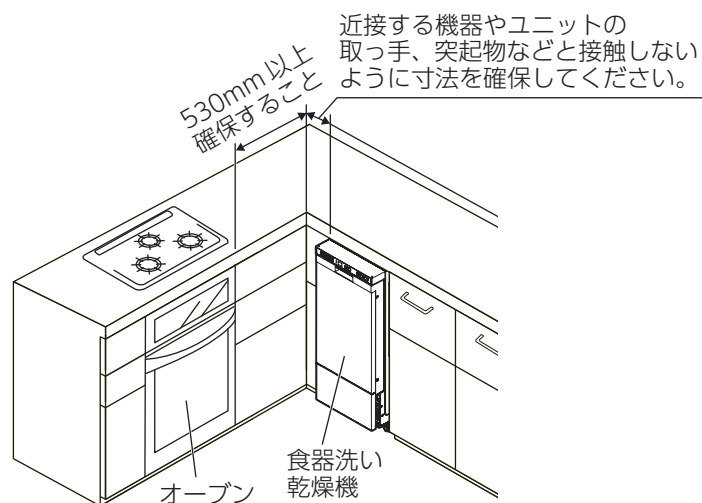
片側が壁面または、トールユニットの場合

- ・カウンター支持金具は市販のL金具を使用してください。
- ※ 締結ねじの長さは、下図のA寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。法令（電気設備の技術基準の解釈）により義務づけられています。
- ・他のビルトイン型加熱機器などと並べて設置しますと、カウンター上に荷重をかけたとき、たわむことがありますので、補強処置を施してください。（市販のL金具を使用します。）



i お願い

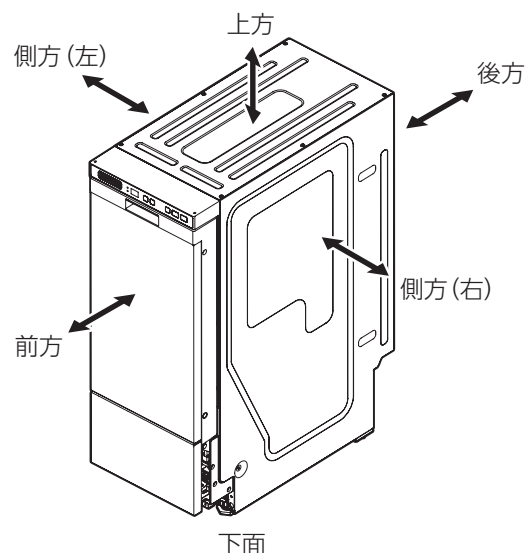
- L型配列のコーナー部に設置すると、食器洗い乾燥機のドアを開閉する際にオーブンの取っ手部に当たったり、故障修理の際に引き出せない場合がありますので、ご注意ください。



※ 本体の金属部品が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレスカウンターと電氣的に接触しないようにしてください。法令（電気設備の技術基準の解釈）により義務づけられています。

- この食器洗い乾燥機は「消防法告示第一号（対象火気設備などおよび火気器具などの離隔距離に関する基準）」に適合しています。
建築物の可燃物などからの離隔距離は以下の表に記載された値以上の距離を保ってください。

消防法 基準適合 組込形			
可燃物からの離隔距離 (cm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	—	0



電気工事について

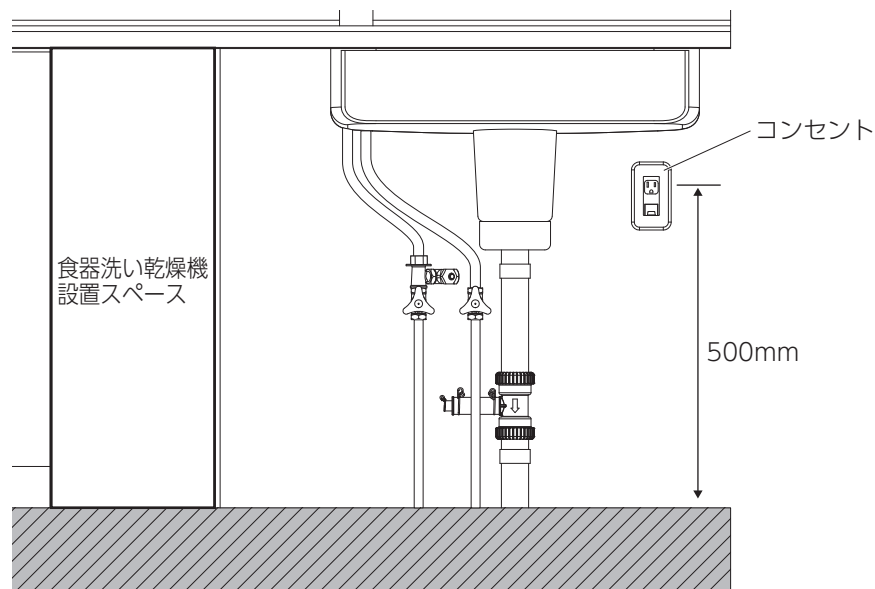


注意

- 電源は専用のコンセントを単独でつかう
- コンセントを床面に設置、転がした状態で使用しない
火災・感電の原因になります。

■工事はすべて電気設備技術基準に準じて行ってください

- ・電源回路は交流100V、定格15A以上の専用回路が必要です。
- ・コンセントは壁面の決められた位置に正しく固定をしてください。(下図参照)
- ・コンセントは125V、15Aの埋込形もしくは露出形のアースターミナル付コンセントを使用してください。
- ・本体の電源（電圧、周波数）表示は銘板に示しています。



アースについて

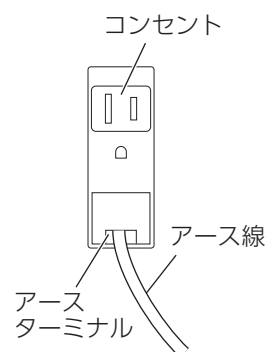


注意

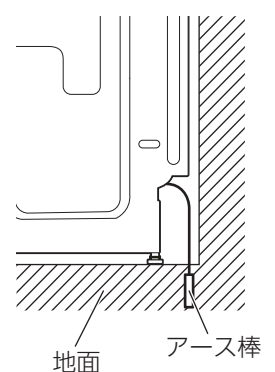
- アースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- アース線はガス管や水道管、電話や避雷針のアース線に接続しない
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

- ・市販のアース棒を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。
(電気工事士の有資格者がD種（第3種）接地工事をするよう法令で定められています。)
- ・ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。(法令などで禁止されています。)
- ・設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。

アースターミナル付
コンセントの場合



アース棒を使用
の場合



(できるだけ湿った場所を選ぶ)

給排水工事

給湯（給水）工事、排水工事について



- 高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける
水もれの原因になります。
- 70℃以上のお湯が供給される給湯（給水）栓への配管には接続しない
故障の原因になります。
- 分岐先に止水栓を必ず取り付ける
止水栓は閉じた状態にしておいてください。

■本機は配管直結タイプですので設計および施工工事の段階で給・排水の位置決めは正確に行ってください

- ・温泉水や地下水、井戸水で使用すると、水質によっては機器内配管に異物が付着するなど、耐久性を損なうことがありますので、機器に接続しないでください。
- ・給湯管は給湯用塩化ビニルライニング鋼管（相当品）を使用してください。
- ・給湯（給水）、排水配管の端面は、バリのないよう処理してください。かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除いてください。配管詰まりによる故障や、水もれの原因となります。
- ・排水本管に至るまでの接続部品（図示していない）も耐熱塩ビを使い、配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
- ・本機が使用できる水道圧力は0.03～1MPa（0.3～10.0kgf/cm²）の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では減圧弁を取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧してください。水圧が高すぎると水もれの原因になります。

給湯器について



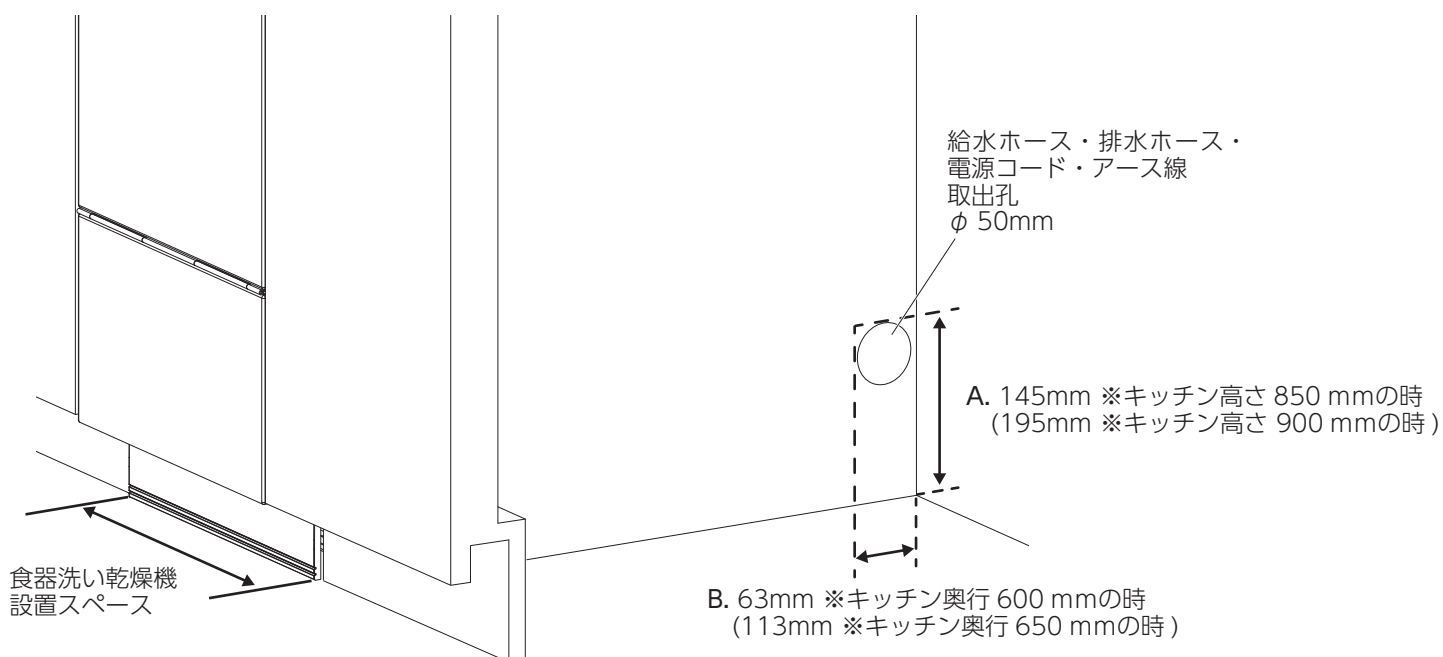
- 元止め式ガス湯沸器、小型深夜電力利用温水器からの配管は絶対しない
- 特に高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では給湯器に所定の減圧弁を必ず取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧する

- ・給湯接続の場合は10号以上の先止め式ガス湯沸器、石油給湯器、中型以上の深夜電力利用温水器などで70℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。
- ・施工前に給湯接続か給水接続か、お客様に確認してください。
（給湯接続された場合、運転時間にメリットがあります。）

壁の孔あけについて

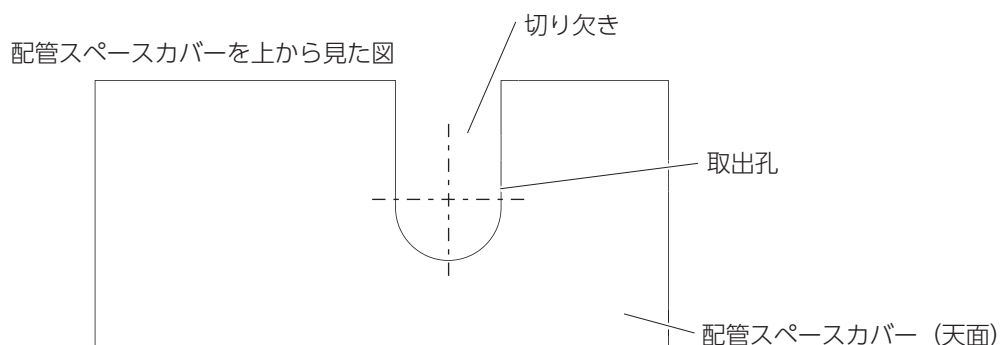
- ・ 食器洗い乾燥機の設置予定場所と給排水工事予定場所の間に壁がある場合、給水ホース・排水ホース・電源コード・アース線を通す孔が必要になります。
 - ・ 下図を参照いただき、キッチン高さ・キッチン奥行と配管スペースの高さに注意をして孔をあけてください。
- ※ 下図は、食器洗い乾燥機を見て、シンクキャビネットが右側の場合です。左側の場合は、左右対称となります。

壁のA・B寸法内に $\phi 50\text{mm}$ の孔をあけてください。



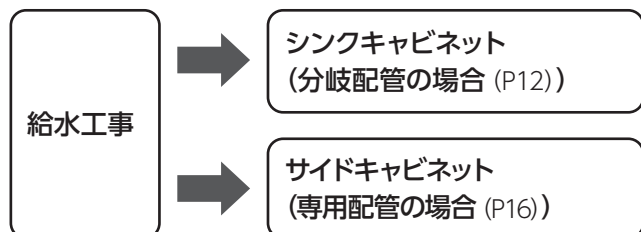
配管スペースの孔あけについて

- ・ 配管スペースがある場合、配管スペースカバー天面に、給水ホース・排水ホース・電源コード・アース線を通す切り欠きが必要になります。
 - ・ 下図を参照いただき、取出孔をあけてください。
- ※ 取出孔をあける際は、 $\phi 50\text{mm}$ のサイズを基準に配管が通るように調整をしてください。

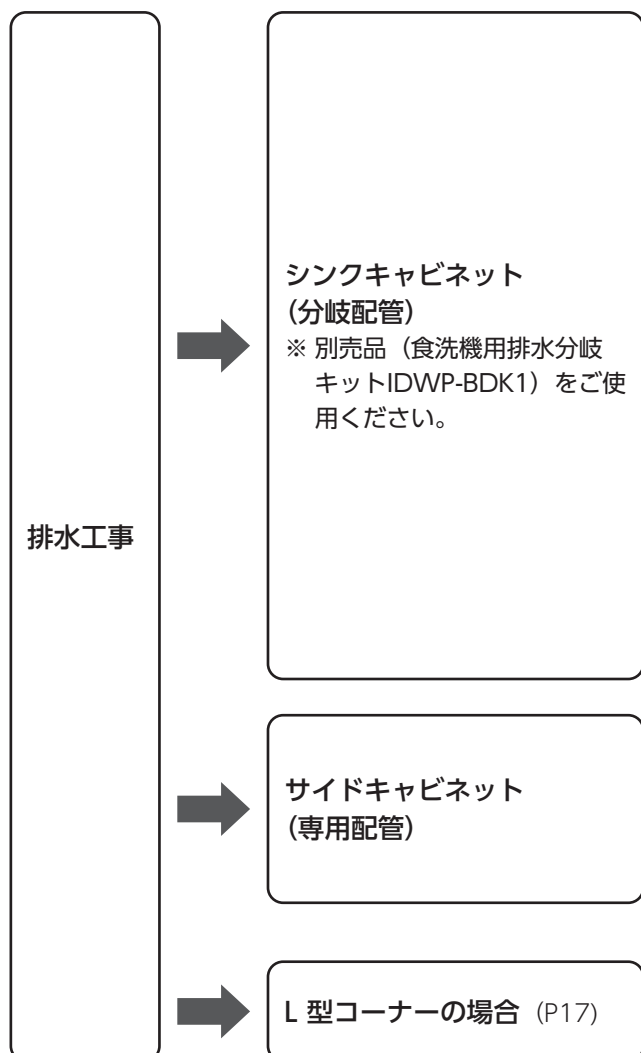


フローチャート

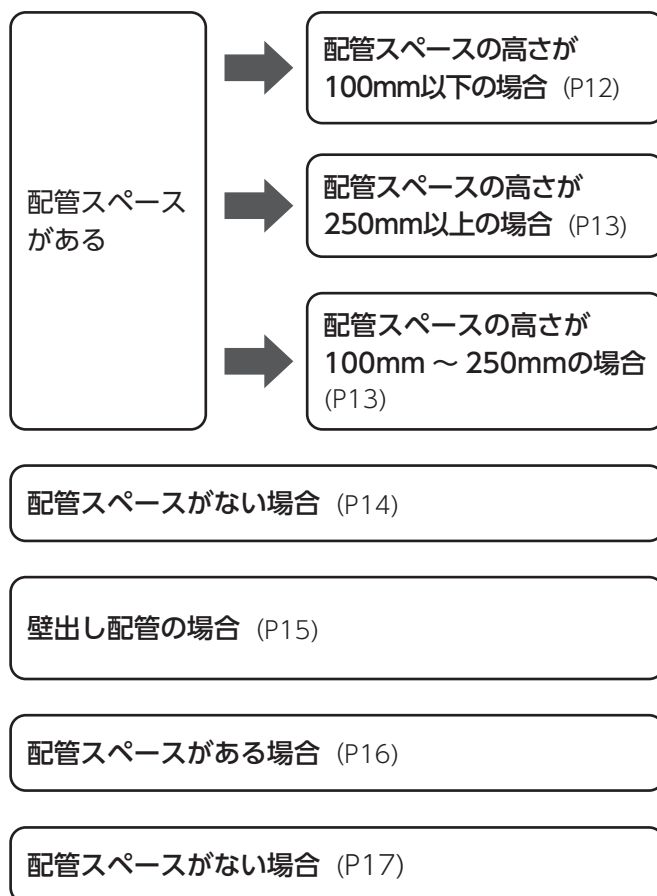
給排水工事パターン



給排水工事パターン



給排水工事条件



リフォームの場合 P17

※ 接続部品に関しては、アイリスコールへお問い合わせください。

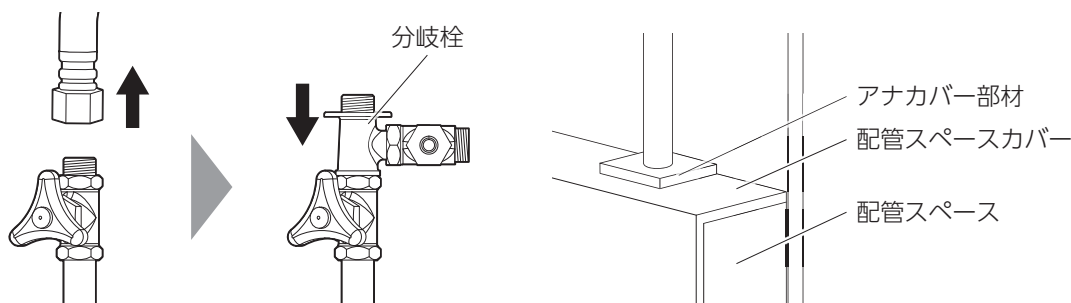
シンクキャビネット 工事手順について



70℃以上のお湯が供給される給湯（給水）栓への配管には接続しない。
故障の原因になります。

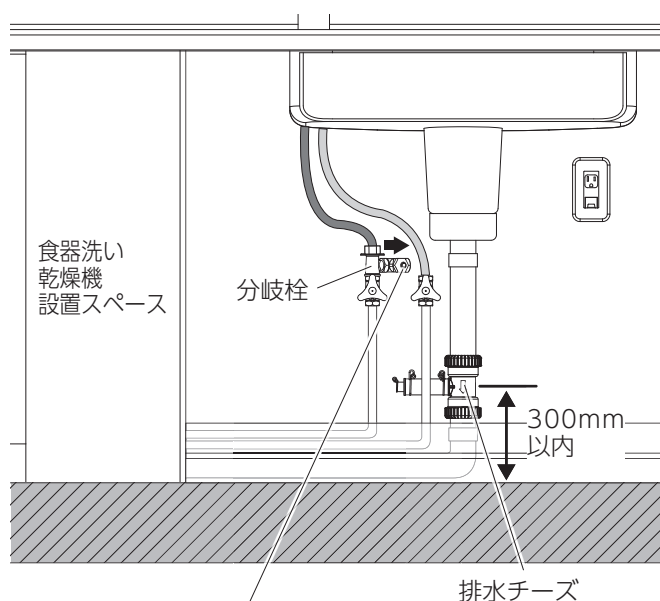
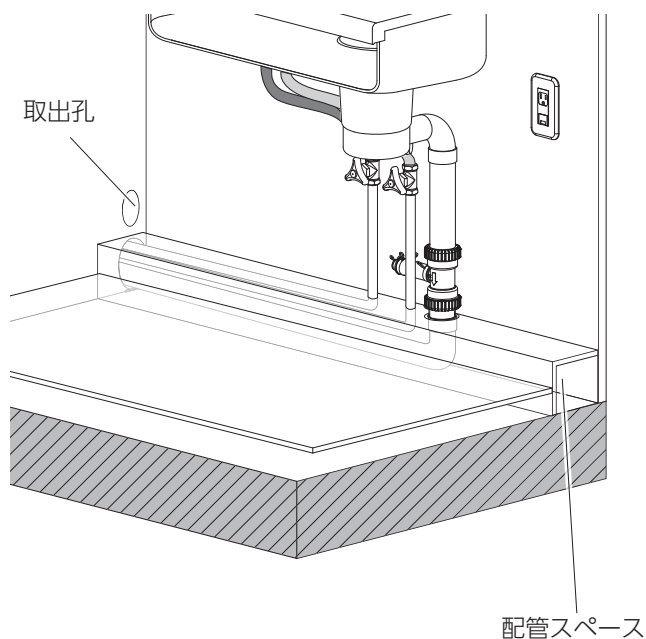
シンクキャビネット

- ① 配管スペースに、給水ホース・排水ホース・電源コード・アース線用の取出孔をあける（P10）
- ② シンクキャビネットの給湯（給水）管に分岐栓を取り付ける
 - ・シンク下の給湯（給水）管への取り付けは、分岐栓（現地調達）をご使用ください。
- ③ シンクキャビネットの排水管へ排水チーズを取り付ける
 - ・シンク下の排水管への取り付けは、別売品（食洗機用排水分岐キット IDWP-BDK1）をご使用ください。
 - ・排水チーズの取り付けは高さ300mm以内になるように調整してください。
- ④ 取出孔のすきまから、虫などの侵入を防止するため、アナカバー部材（現地調達）を取り付けてください。



シンクキャビネット 配管スペース（高さ：100mm以下）がある場合

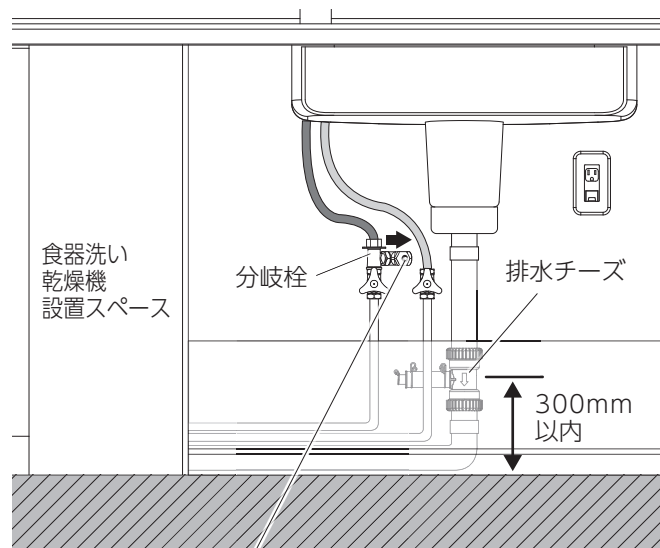
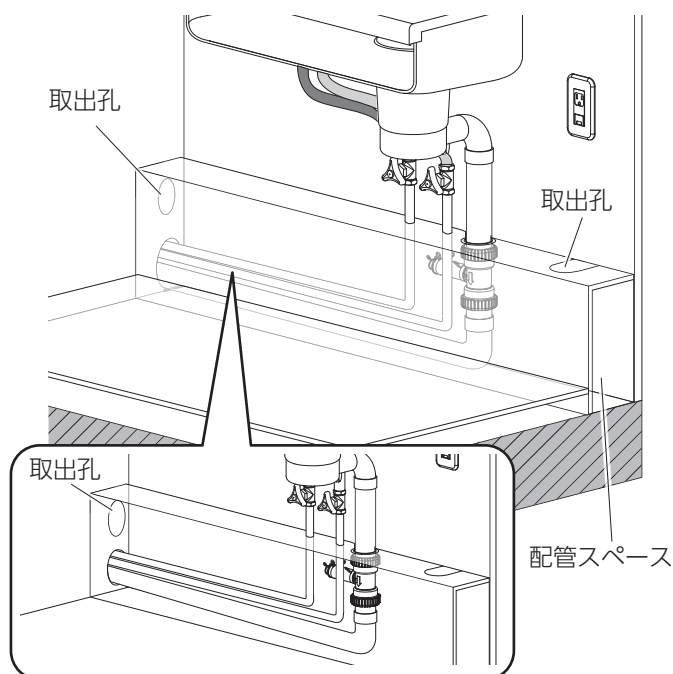
- ・シンクキャビネットの給湯（給水）管への取り付けは、分岐栓（現地調達）をご使用ください。
- ・シンクキャビネットの排水管への取り付けは、別売品（食洗機用排水分岐キットIDWP-BDK1）をご使用ください。



給水口は、食器洗い乾燥機と反対側へ向けてください。
※ 給水ホースが届かない場合は、食器洗い乾燥機側へ向けてください。

シンクキャビネット 配管スペース（高さ：250mm以上）がある場合

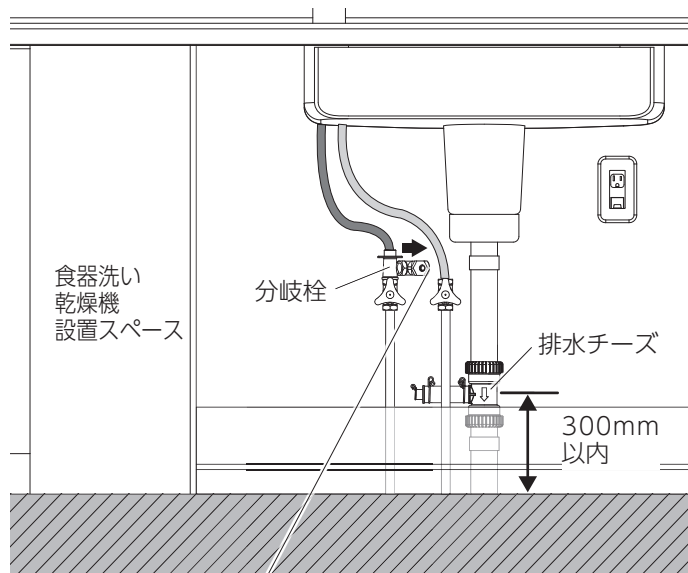
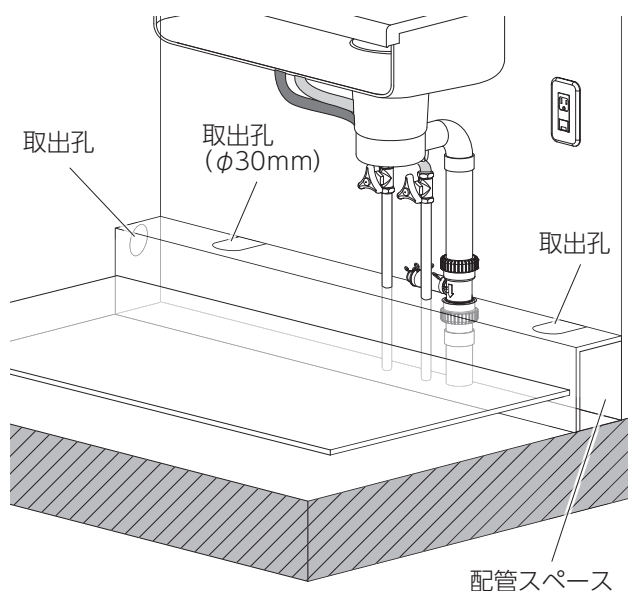
- ・シンクキャビネットの給湯（給水）管への取り付けは、分岐栓（現地調達）をご使用ください。
- ・シンクキャビネットの排水管への取り付けは、別売品（食洗機用排水分岐キットIDWP-BDK1）をご使用ください。
- ※ 排水チーズの高さが300mm以内になるように、配管スペース内に排水チーズを取り付けてください。



給水口は、食器洗い乾燥機と反対側へ向けてください。
※ 給水ホースが届かない場合は、食器洗い乾燥機側へ向けてください。

シンクキャビネット 配管スペース（高さ：100～250mm）がある場合

- ・シンクキャビネットの給湯（給水）管への取り付けは、分岐栓（現地調達）をご使用ください。
- ・シンクキャビネットの排水管への取り付けは、別売品（食洗機用排水分岐キットIDWP-BDK1）をご使用ください。
- ・配管スペースの高さが100～250mmの間の場合は、下記点に留意し、対応してください。
 - ・排水チーズの取り付け高さが床面から300mm以内になること
 - ・側壁や配管スペースに給排水ホースなどの取出孔をあける際は、 $\phi 50\text{mm}$ のサイズを基準に配管が通るように調整すること（P10）

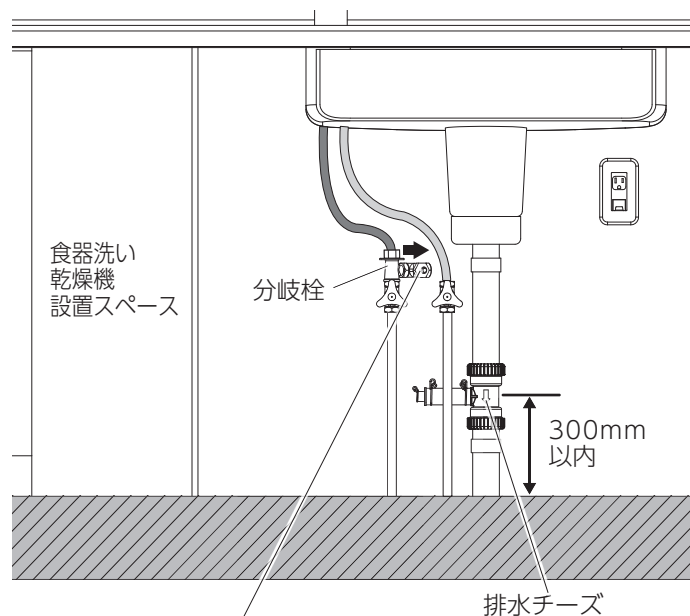
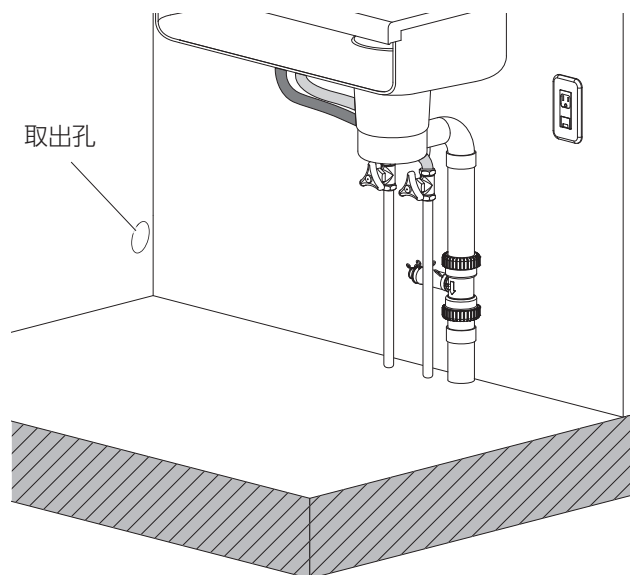


給水口は、食器洗い乾燥機と反対側へ向けてください。
※ 給水ホースが届かない場合は、食器洗い乾燥機側へ向けてください。

シンクキャビネット 配管スペースがない場合

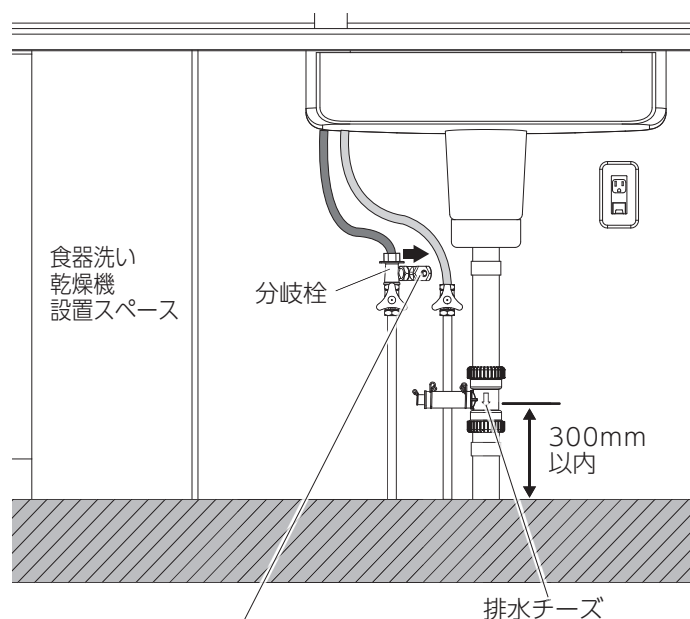
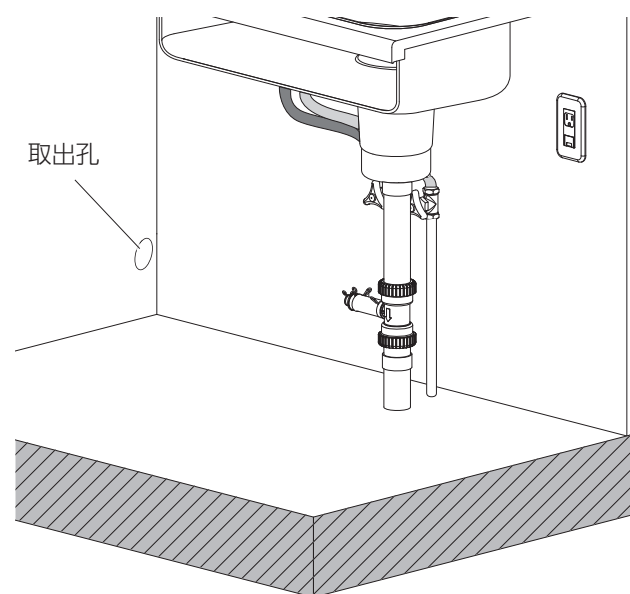
- ・シンクキャビネットの給湯（給水）管への取り付けは、分岐栓（現地調達）をご使用ください。
- ・シンクキャビネットの排水管への取り付けは、別売品（食洗機用排水分岐キットIDWP-BDK1）をご使用ください。

排水管がシンクキャビネットの奥を通る場合



給水口は、食器洗い乾燥機と反対側へ向けてください。
※ 給水ホースが届かない場合は、食器洗い乾燥機側へ向けてください。

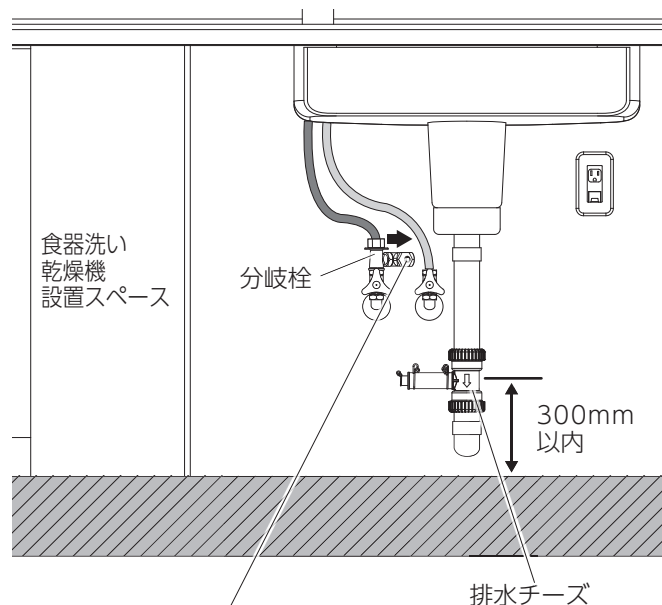
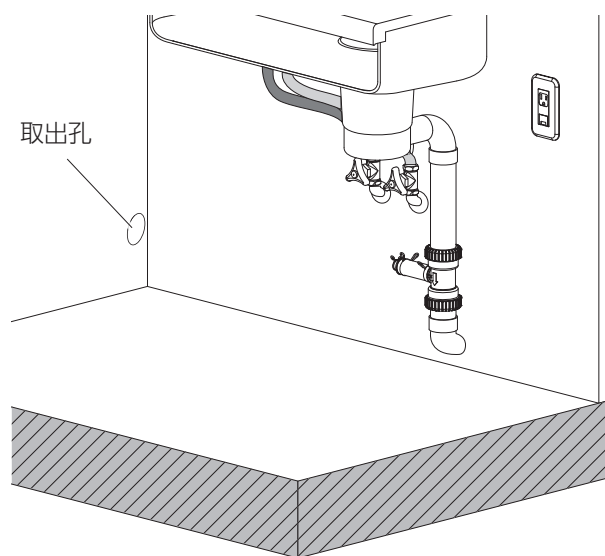
排水管がシンクキャビネットの中央を通る場合



給水口は、食器洗い乾燥機と反対側へ向けてください。
※ 給水ホースが届かない場合は、食器洗い乾燥機側へ向けてください。

シンクキャビネット 壁出し配管の場合

- シンクキャビネットの給湯（給水）管への取り付けは、分岐栓（現地調達）をご使用ください。
- シンクキャビネットの排水管への取り付けは、別売品（食洗機用排水分岐キットIDWP-BDK1）をご使用ください。



給水口は、食器洗い乾燥機と反対側へ向けてください。
※ 給水ホースが届かない場合は、食器洗い乾燥機側へ向けてください。

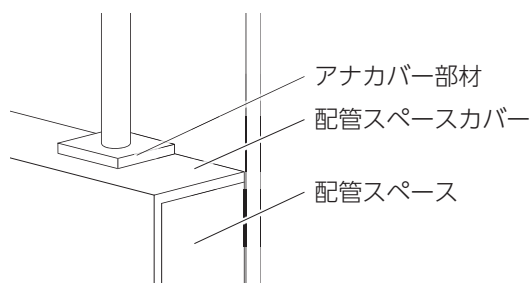
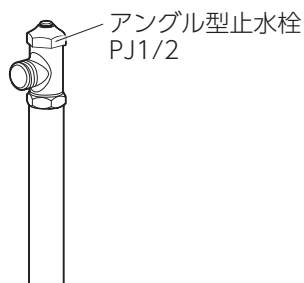
サイドキャビネット 工事手順について



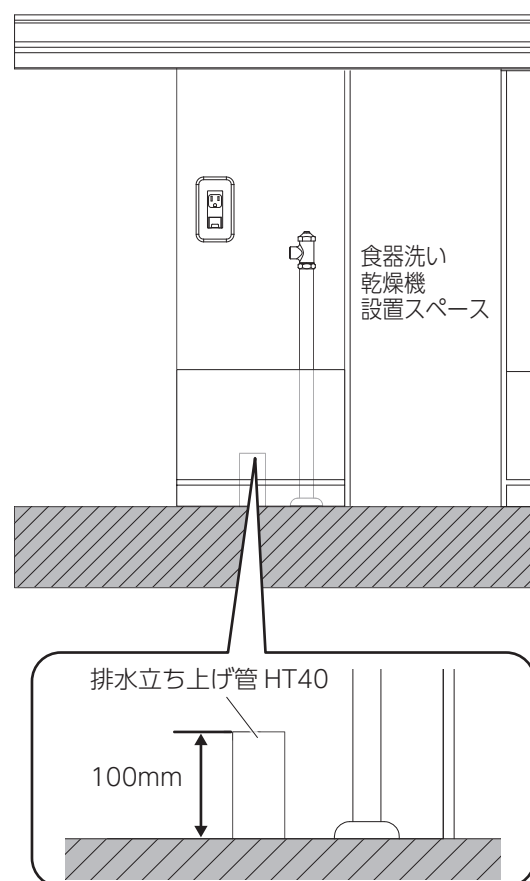
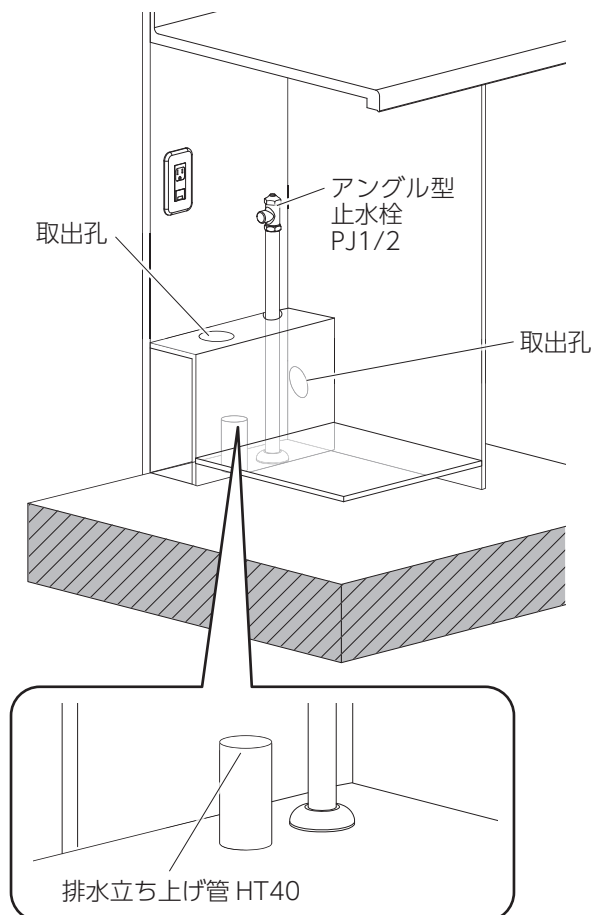
70℃以上のお湯が供給される給湯（給水）栓への配管には接続しない。
故障の原因になります。

サイドキャビネット

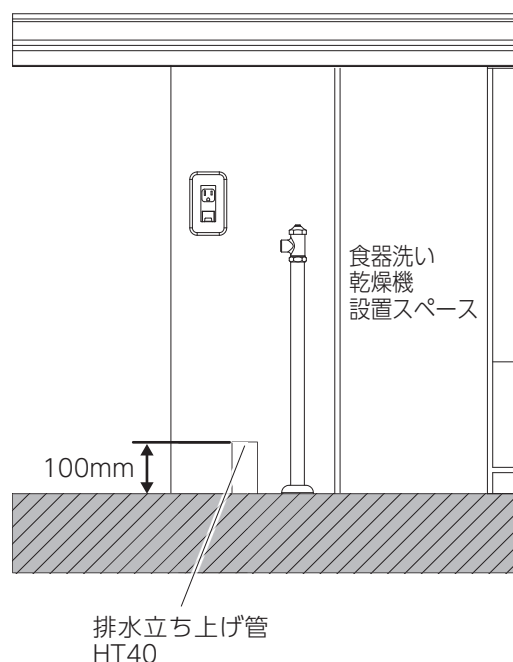
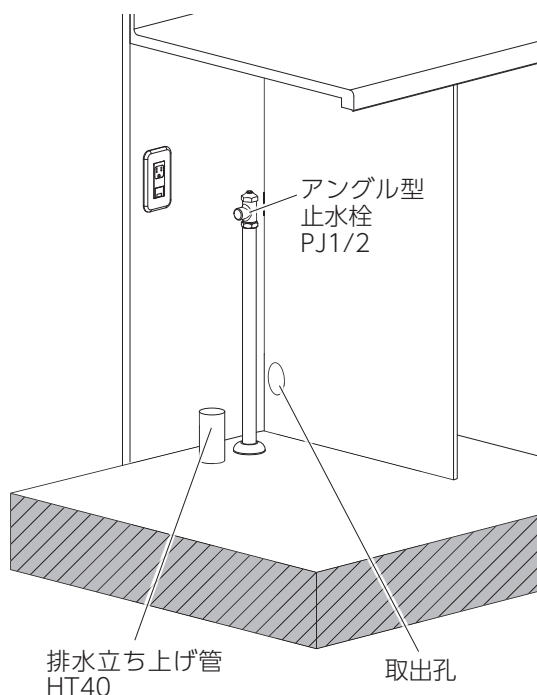
- ① 配管スペースに、給水ホース・排水ホース・電源コード・アース線用の取出孔をあける（P10）
- ② 専用配管で給湯（給水）管を配管し、アングル型止水栓（PJ1/2・現地調達）を取り付ける
・ 給水口はビルトイン食洗機設置スペースと反対側へ向くように取り付けてください。
- ③ 排水管に排水立ち上げ管（HT40・現地調達）を配管する
・ 排水立ち上げ管の配管は高さ100mmになるように調整してください。
- ④ 取出孔のすきまから、虫などの侵入を防止するため、アナカバー部材（現地調達）を取り付けてください。



サイドキャビネット 配管スペースがある場合



サイドキャビネット 配管スペースがない場合



L型コーナーの場合

シンクキャビネット（分岐配管）の場合（P12～15）を確認してください。

※ シンクキャビネットの排水管への取り付けは別売品（食洗機用排水分岐キットIDWP-BDK1）をご使用ください。

※ ホース長さが届かない場合は、延長して（現地調達）繋いでください。

リフォームの場合

シンクキャビネット（分岐配管）での接続（P12～15）を推奨します。

※ シンクキャビネットの排水管への取り付けは別売品（食洗機用排水分岐キット IDWP-BDK1）をご使用ください。



● 既存食器洗い乾燥機の古い給排水管は、老朽化が懸念されるため、撤去もしくは封止をお願いします。

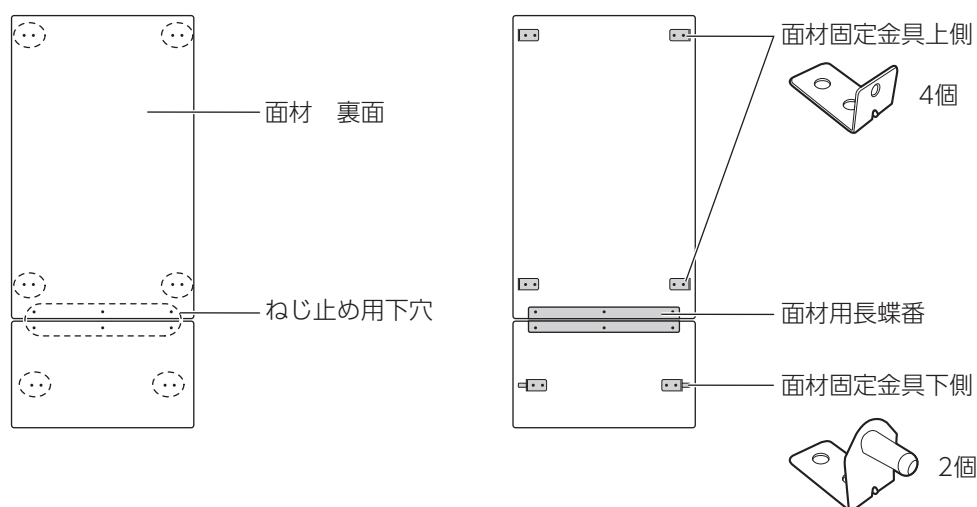
設置

- 作業の開始前に事前作業と給排水工事が完了していることを確認してください。

1 面材の取り付け

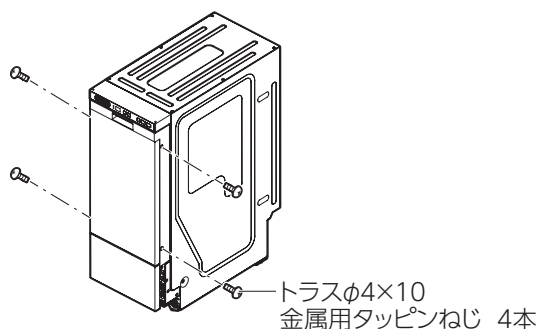
- 使用する面材（別売品：面材セットIDWP-BMB1/IDWP-BMW1）に、製品に付属している面材固定金具と面材用長蝶番を取り付ける
- 面材の厚さは15mm～20mmに対応しています。面材の厚みによって取り付ける面材用長蝶番が変わりますので下記を参照してください。

面材の厚さ	面材用長蝶番
15mm以上～17mm未満	厚さ15mm用
17mm以上～20mm以下	厚さ18mm用



- 面材固定金具上側・面材固定金具下側を、面材に対して斜めに取り付けないように注意してください。

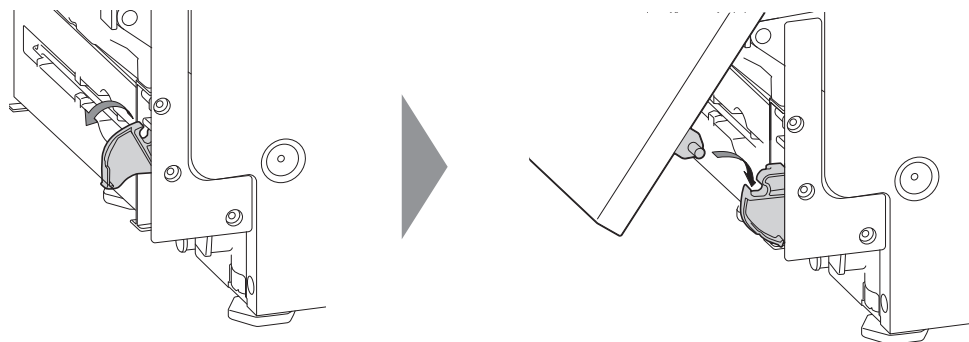
- 面材を上方に押し当てながら本体にねじで固定する
- ※ 適切な締め付けトルクは0.98N・m（10kgf・cm±1）です。



- 面材固定金具上側のねじ穴と、ドアの穴の中心が合っていることを確認して固定してください。

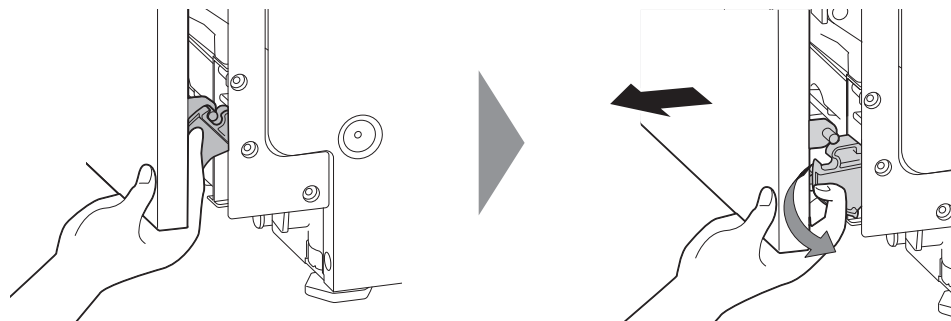
③ 下部カバーを、本体下部のレバーを一度下げて固定する

- ねじ固定後であれば、軽い力で下部カバーを押すことで、本体下部のレバーに固定することができます。



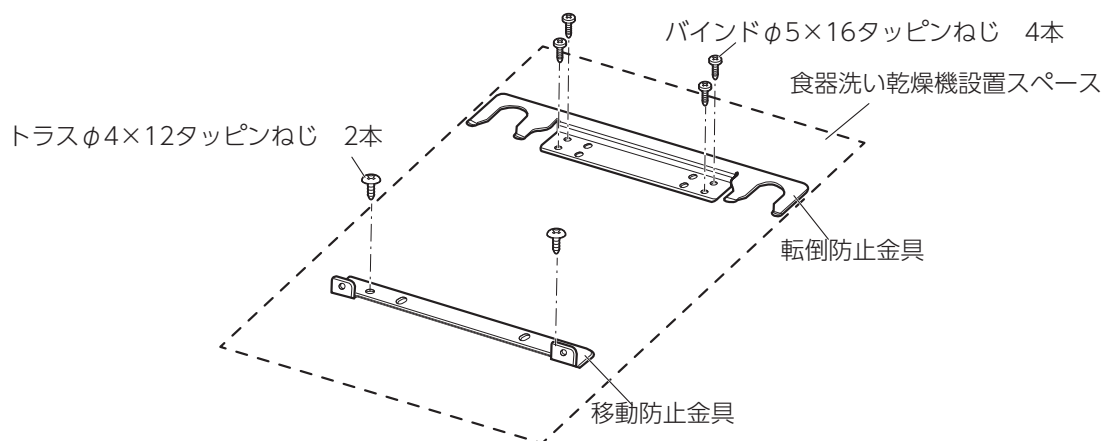
- レバーから外す際は、ドアを閉めた状態で下から手を入れ、レバーを下向きに引っ張ると、下部カバーを外すことができます。

※ レバーは、左右にありますので、両手でレバーを持ち、同時に引っ張ってください。



2 型紙の設置、設置金具取り付け

- ・ 製品に付属している設置用型紙を確認して、転倒防止金具と移動防止金具を設置場所に固定してください。
- ※ 詳細は設置用型紙をご確認ください。



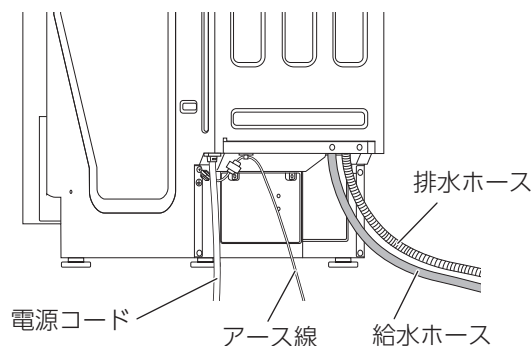
注意

- 位置決めは正確に行う
直角ゲージ（金尺・三角定規など）で正確に設置用型紙を当てて位置決めしないと、転倒防止の機能が有効になりません。
- 移動防止金具と転倒防止金具は、必ず所定の位置に取り付ける
本体が移動して水もれが起きるおそれがあります。

3 本体のビルトイン

① ケーブルやホースを仮固定する

本体についている給水ホース、排水ホース、電源コード、アース線をテープなどで取り付け場所に仮固定をしてください。



② 本体をセットする

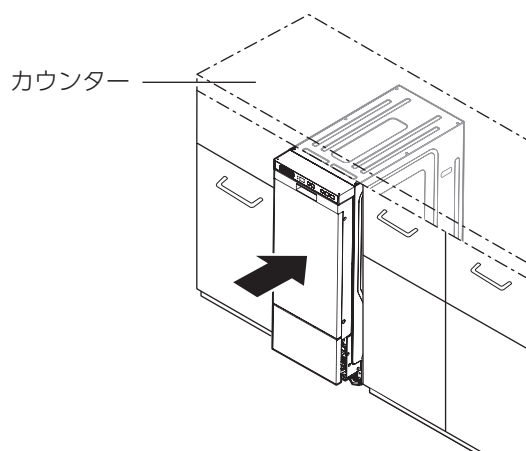
転倒防止金具に当たるまで本体をゆっくり押し込んでください。

・給水ホース、排水ホース、電源コード、アース線を本体や金具に挟まないように注意してください。

※ 給水ホース、排水ホース、電源コード、アース線を挟み込む場合は隣接するキャビネットから引っ張りながらビルトインしてください。

※ 本体がスムーズに挿入できないときは無理に押さず床面を養生するなど滑りやすくして対応をしてください。

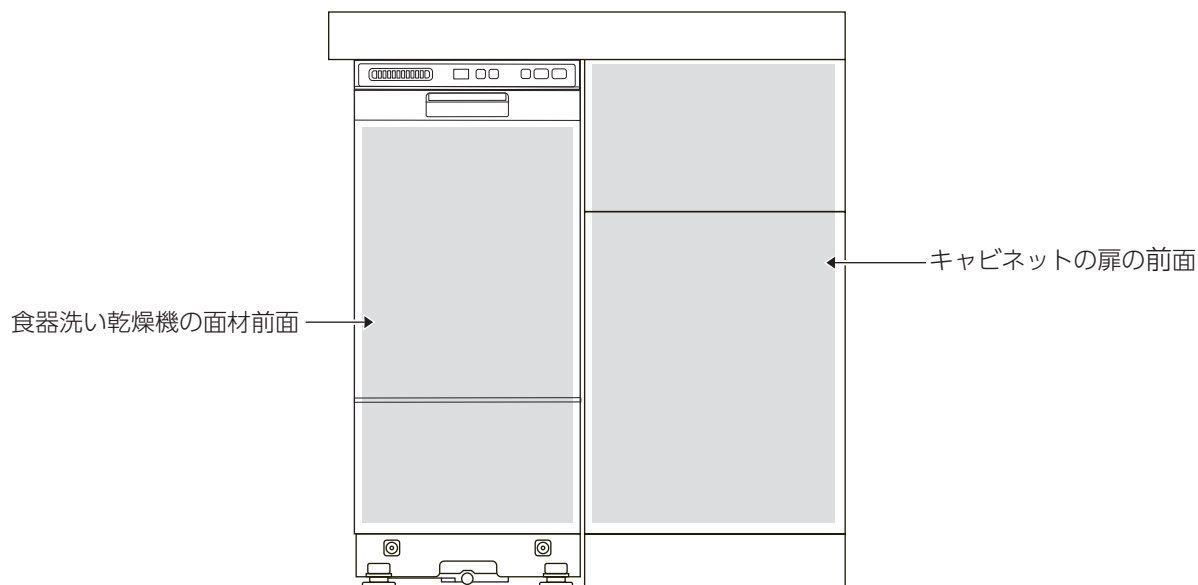
※ 新しくキッチンを設置する場合はカウンターを取り付ける前に食器洗い乾燥機をビルトインすると挟み込みにくくなります。



● 給水ホース、排水ホース、電源コード、アース線を傷付けたり、破損したり、無理に折り曲げたり、挟み込んだりしないでください

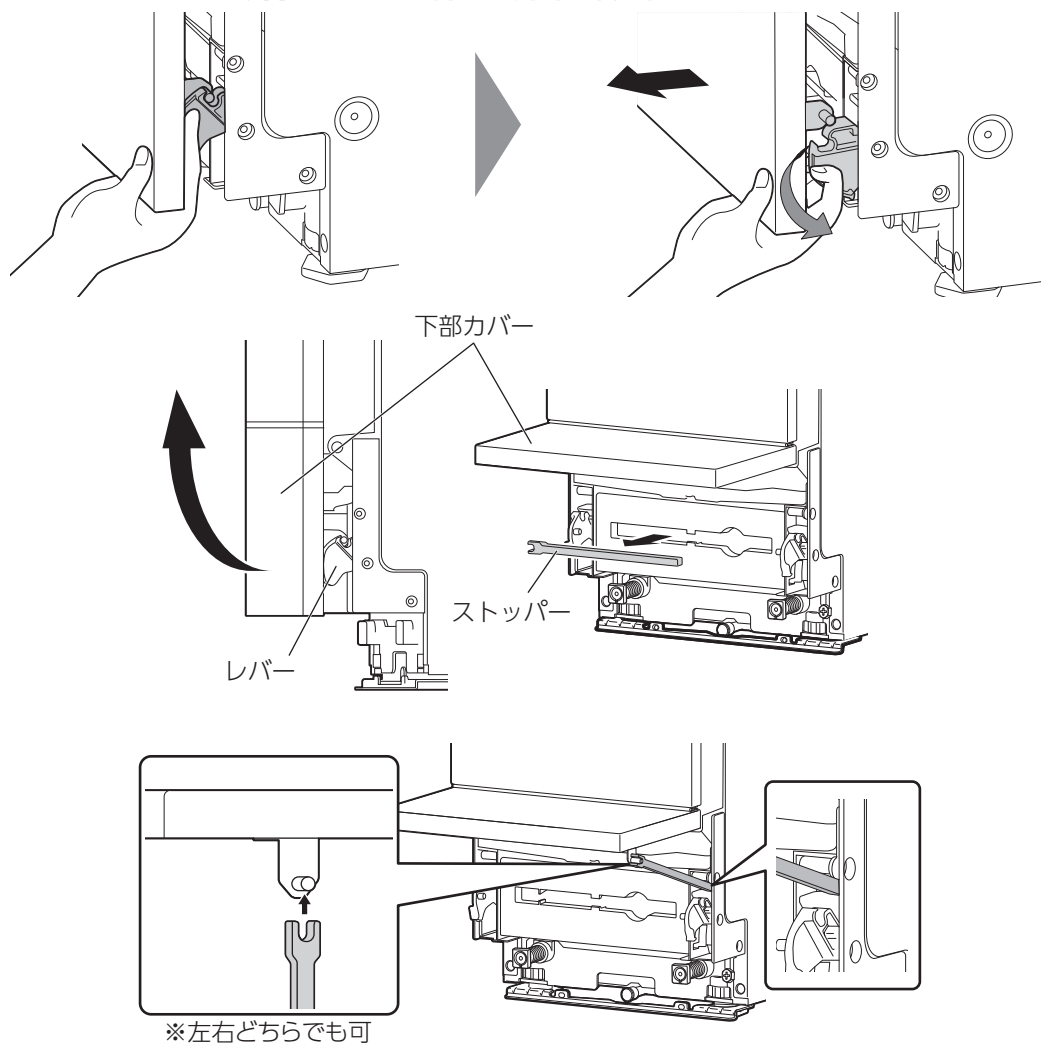
4 移動防止金具前の取り付け

① 食器洗い乾燥機の面材前面が、キャビネットの扉の前面の位置と合っているか確認する

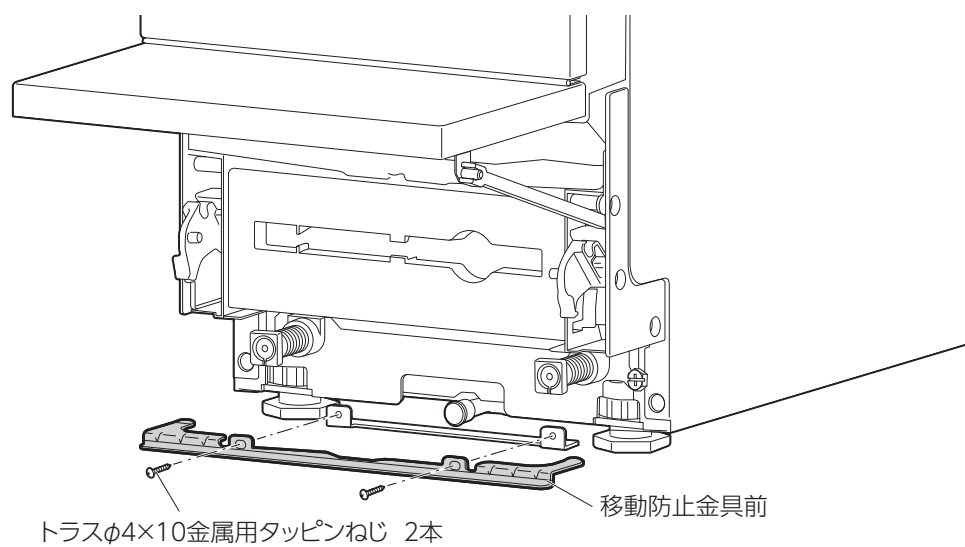


※ 作業をする際にストッパーを使用することで下部カバーを開けたまま作業を行うことができます。

※ レバーは、左右にありますので、両手でレバーを持ち、同時に引っ張ってください。

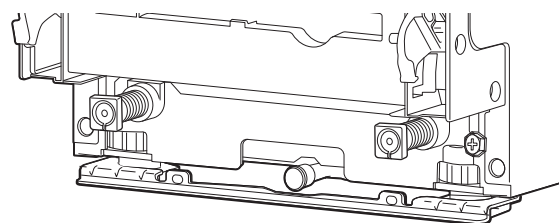


② 本体の下部に移動防止金具前をねじで取り付ける



※ 床面を傷付けないように注意してください。

③ 移動防止金具前が正しく固定されていることを確認してください



5 本体の高さ調整

本体の4本の脚はそれぞれ高さを調整することができます。(調整可能高さ805～855mm)

- ・本体が斜めにならないように面材とキャビネット扉の下部が合うように高さの調整をしてください。



●脚の高さを調整し、本体を水平にする

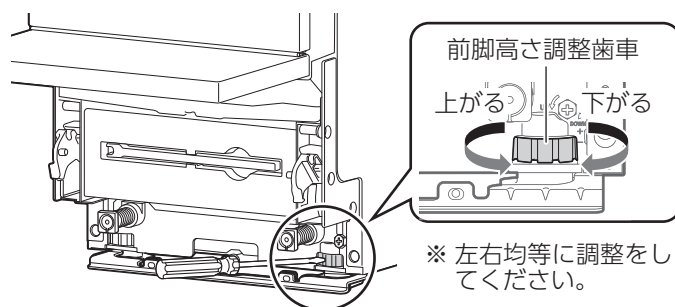
ドアが左右に片寄り、ドアの段差、開閉時の異音、水もれの原因になることがあります。

●床の不陸などにより左右キャビネットをスペーサーなどで調整している場合は、その分本体を高くしてください

左右扉との上下位置が合わなくなります。

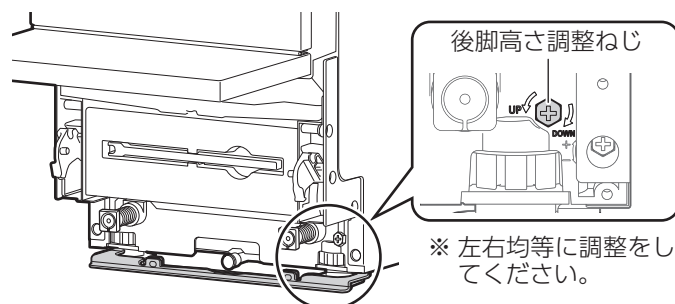
① 前脚の高さを調整する

- ・本体下部の高さ調整歯車をマイナスドライバーなどで回して調整してください。
- ・歯車を右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。



② 後脚の高さを調整する

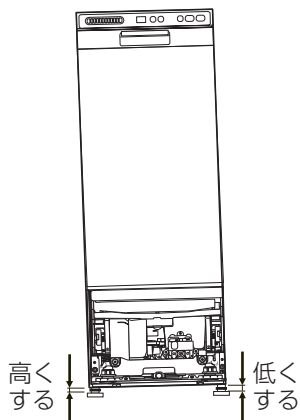
- ・本体下部の高さ調整ねじをプラスドライバーで回して調整してください。
- ・ねじを反時計回りに回すと本体が上がり、時計回りに回すと本体が下がります。



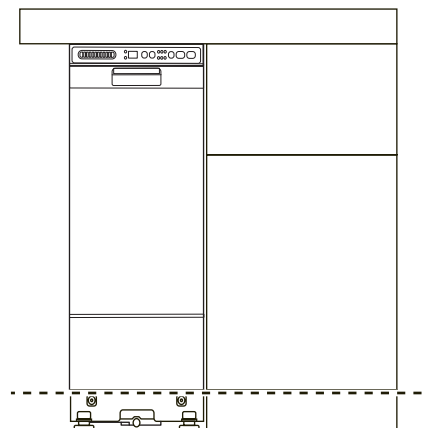
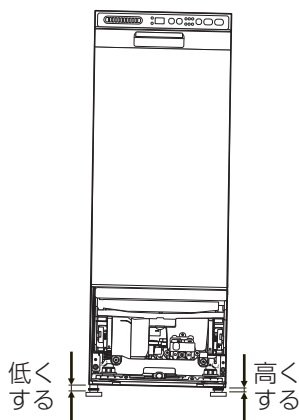
③ 傾きを確認する

- ・製品が左右に傾いていないか、本体の面材の下部がキャビネットの扉の下部とそろっているか確認してください。

左側へ傾いている場合



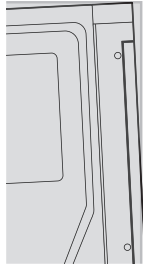
右側へ傾いている場合



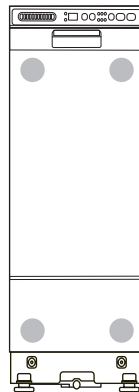
- 製品が前後に傾いていないか、本体の面材前面が、キャビネットの扉の前面とそろっているか確認してください。

上に傾いている場合

下に傾いている場合



- 製品にがたつきがないか、本体の面材前面の対角線上の角を押して確認してください。

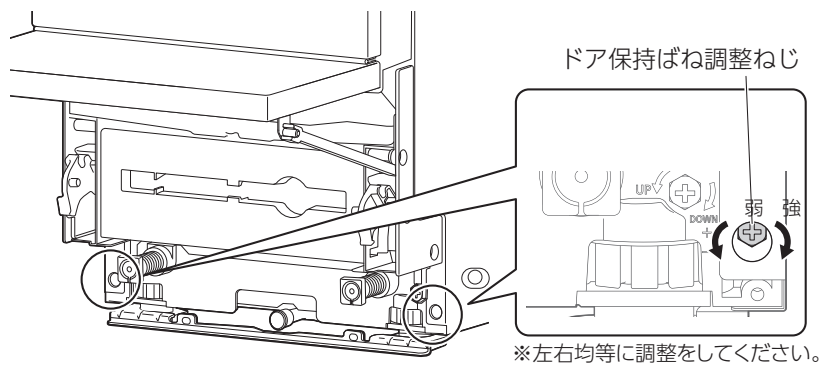


● の箇所を対角で押してください。

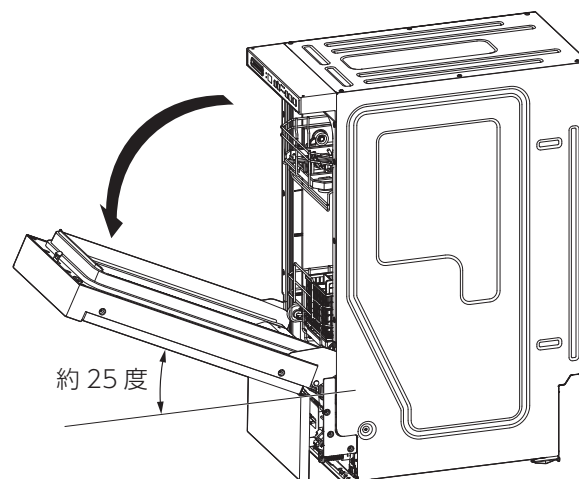
6 ドア保持ばねの調整

ドアを開けた状態で本体下部のドア保持ばね調整ねじを回してドアの位置を調整してください。

- ねじを時計回りに回すとばねが強くなり、反時計回りに回すとばねが弱くなります。



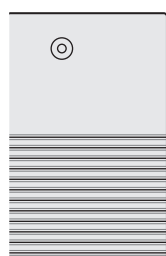
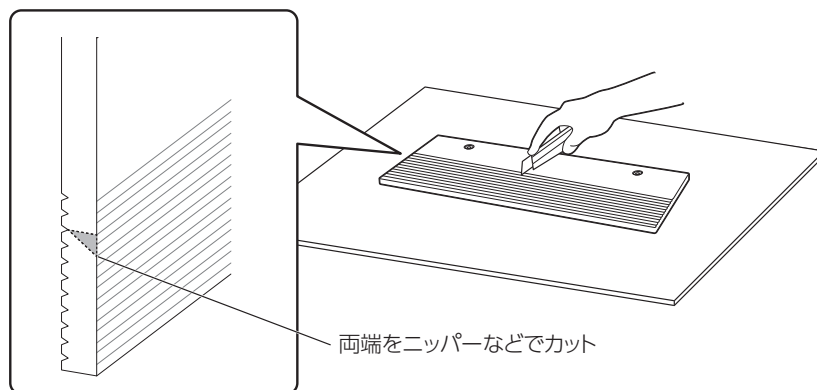
- ドアを開けた際にドアが約25度で止まるように調整をしてください。



7 ケコミカバーの取り付け

① 床面の位置に合わせてケコミカバーをカッターなどでカットする

- ケコミカバーをカットする際は、先に両端をニッパーなどで下図のようにカットし、カッターでV溝にそってカットしてください。



ケコミカバーカット目安
5mm 間隔で高さを調整できます。

本体高さ 805mm ー のとき

本体高さ 815mm ー のとき

本体高さ 825mm ー のとき

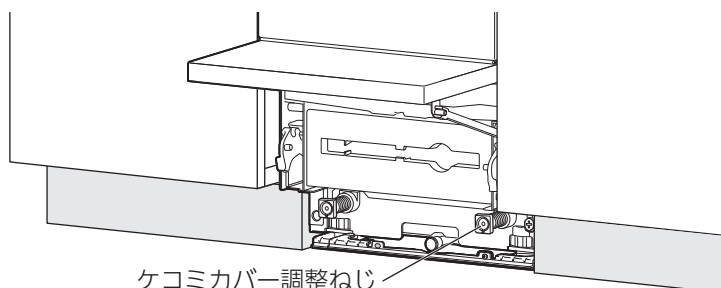
本体高さ 835mm ー のとき

本体高さ 845mm ー のとき

本体高さ 855mm のときカットなし

② 前後の位置をケコミカバー調整ねじを回して合わせる

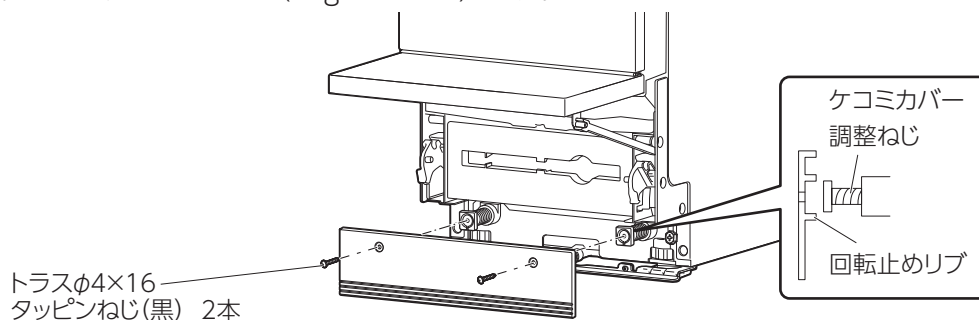
- ケコミカバー調整ねじの先端がケコミ位置から3mm奥側になるように調整してください。



③ ケコミカバーをねじ（黒）で本体に固定する

※ ケコミカバーの裏側の回転止めリブとケコミカバー調整ねじを合わせてから、ねじで固定をしてください。

※ 適切な締め付けトルクは、0.88N・m (9kgf・cm±1) です。



④ ストッパーを元の位置に戻し、下部カバーをとじる

給排水接続

給湯（給水）管への取り付け

施工されている給湯（給水）管に給水ホースを取り付ける。

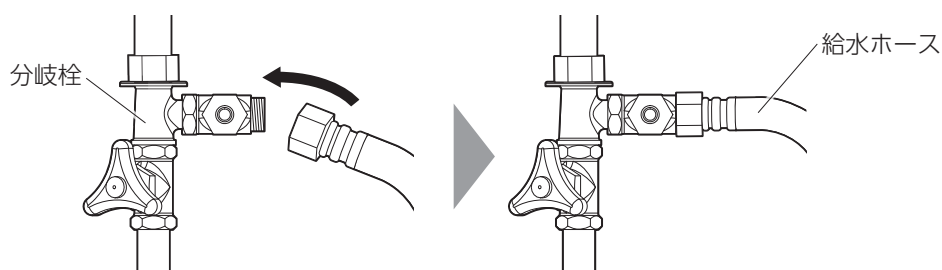
① 給水ホースに付いている、キャップを取り外す。

※ キャップを取り外した後、フィルター付パッキンが入っていることを確認してください。



② ナットは手で軽く締め込んだ後、市販のスパナなどで約半回転ほど締め付けてください。

※ 適切な締め付けトルクは5 ～ 10N・m (50 ～ 100kgf・cm) です。



給水ホースの取りまわし



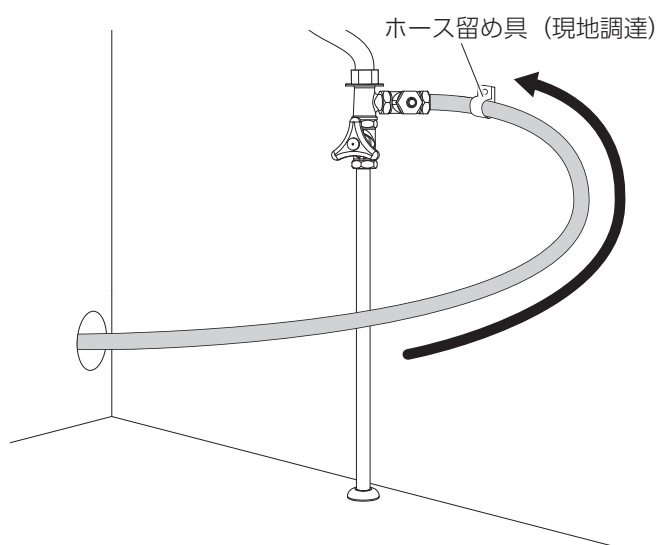
注意

● 給水ホースの余長分は迂回させるなどして調整してください。

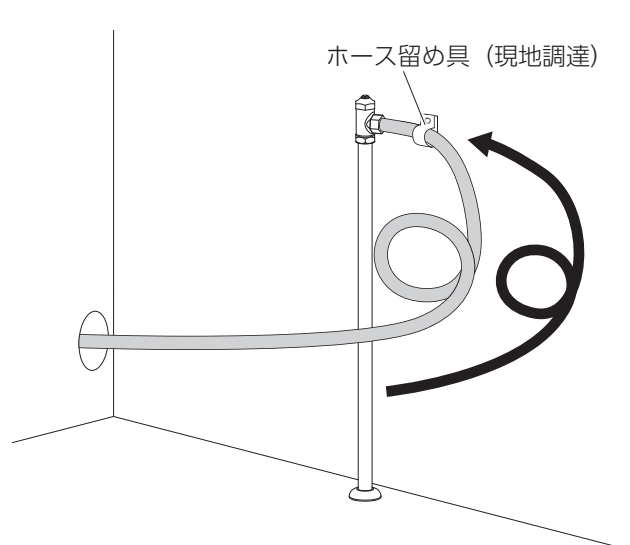
※ 迂回スペースが狭い場合は、給水ホースをループさせるなどして調整してください。

● 給水ホースは折れないよう取りまわしてください。

シンクキャビネット 分岐配管の場合



サイドキャビネット 専用配管の場合



※ 給水ホース径：約φ15mm

給排水接続 つづき

排水管への取り付け／排水ホースの取りまわし

排水ホースの切りかた

※ カッターや、はさみなどで排水ホースに対して垂直に刃を入れて軟質部分を切ってください。
その後、一度引っ張って内部の芯材をニッパーなどでカットしてください。

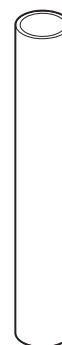
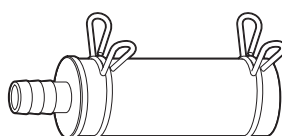
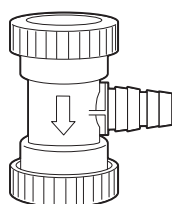


シンクキャビネット 分岐配管の場合

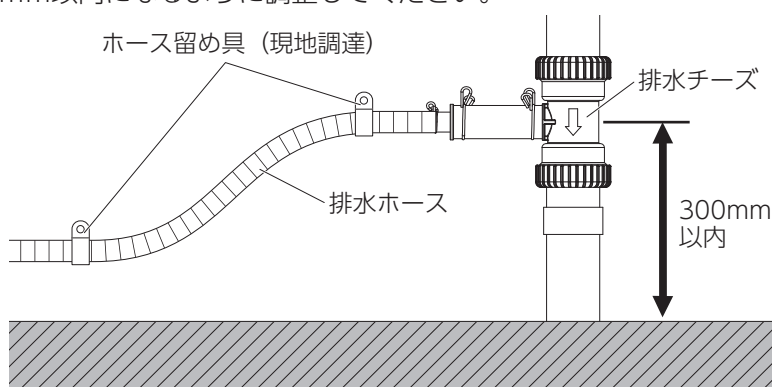
①別売品（食洗機用排水分岐キットIDWP-BDK1）を使用し、配管をしてください。
詳細はIDWP-BDK1の取扱説明書をご確認ください。



●排水ホースを傷付けたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだりしない
水もれの原因になります。



②排水ホースの高さが300mm以内になるように調整してください。



※ 排水ホース径：約φ18mm

サイドキャビネット 専用配管の場合

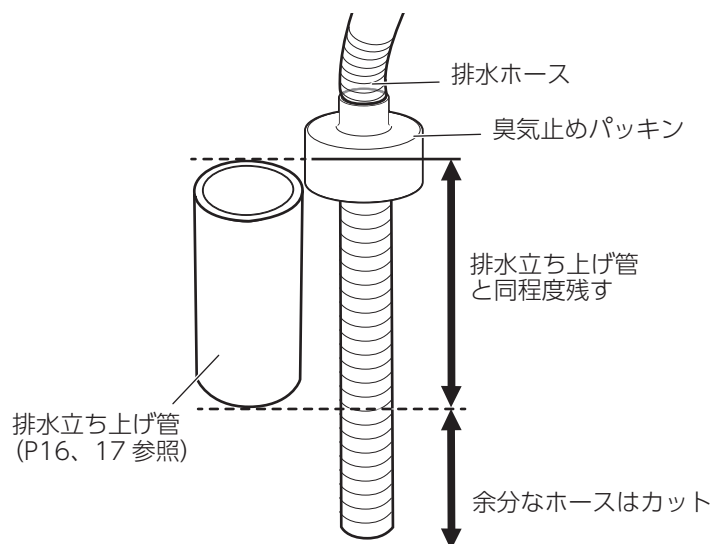
製品に付属している臭気止めパッキンを、排水管に取り付けてください。

① 臭気止めパッキンをホースに取り付ける

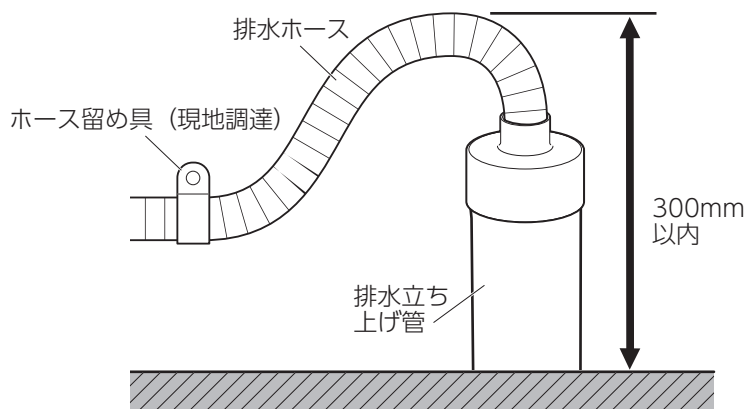
- ・ 排水管の高さに合わせて排水ホースをカットし臭気止めパッキンに挿入してください。



- 排水ホースを傷付けたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだりしない水もれの原因になります。



② 排水ホースの高さが300mm以内になるように調整してください。

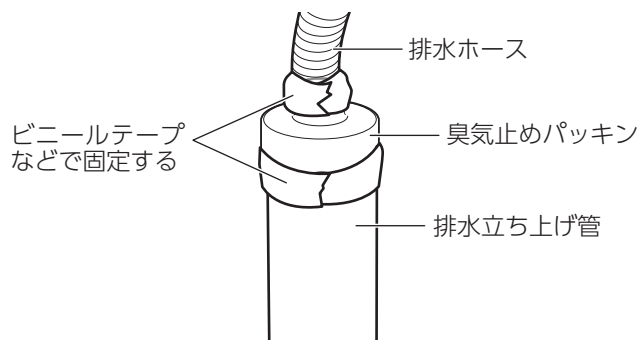


※ 排水ホース径：約φ18mm

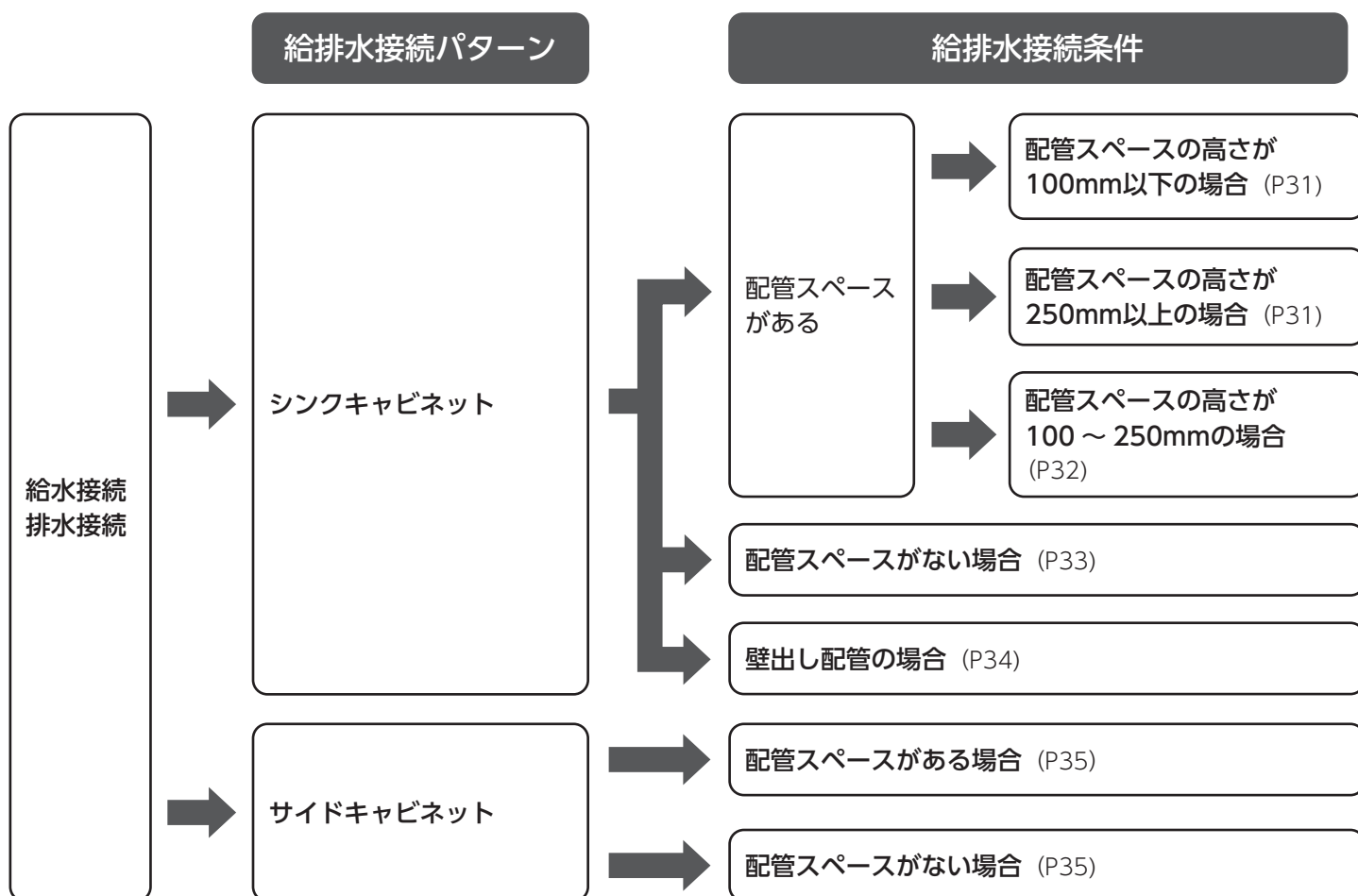
③ 排水ホースと臭気止めパッキンをビニールテープで固定する。

④ 臭気止めパッキンを排水立ち上げ管に被せるように取り付けて、ビニールテープで固定する。

※ 幅広のテープを使用すると、固定がしやすくなります。

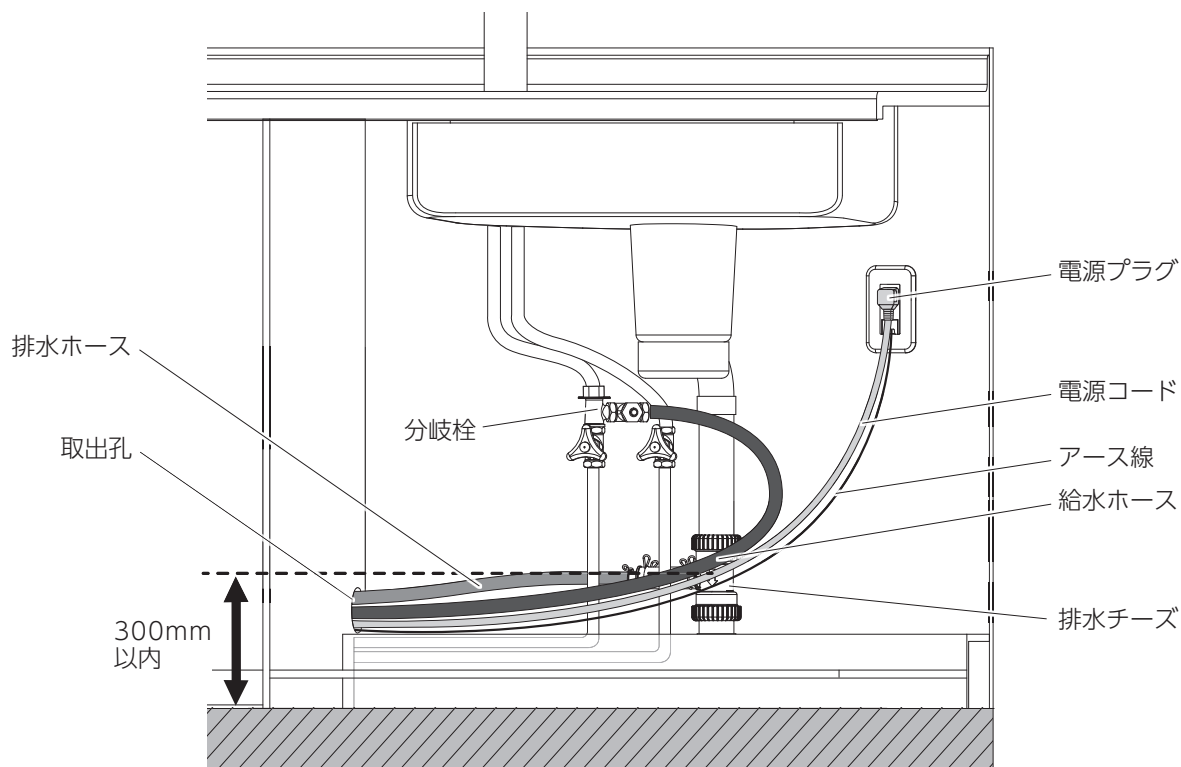


フローチャート



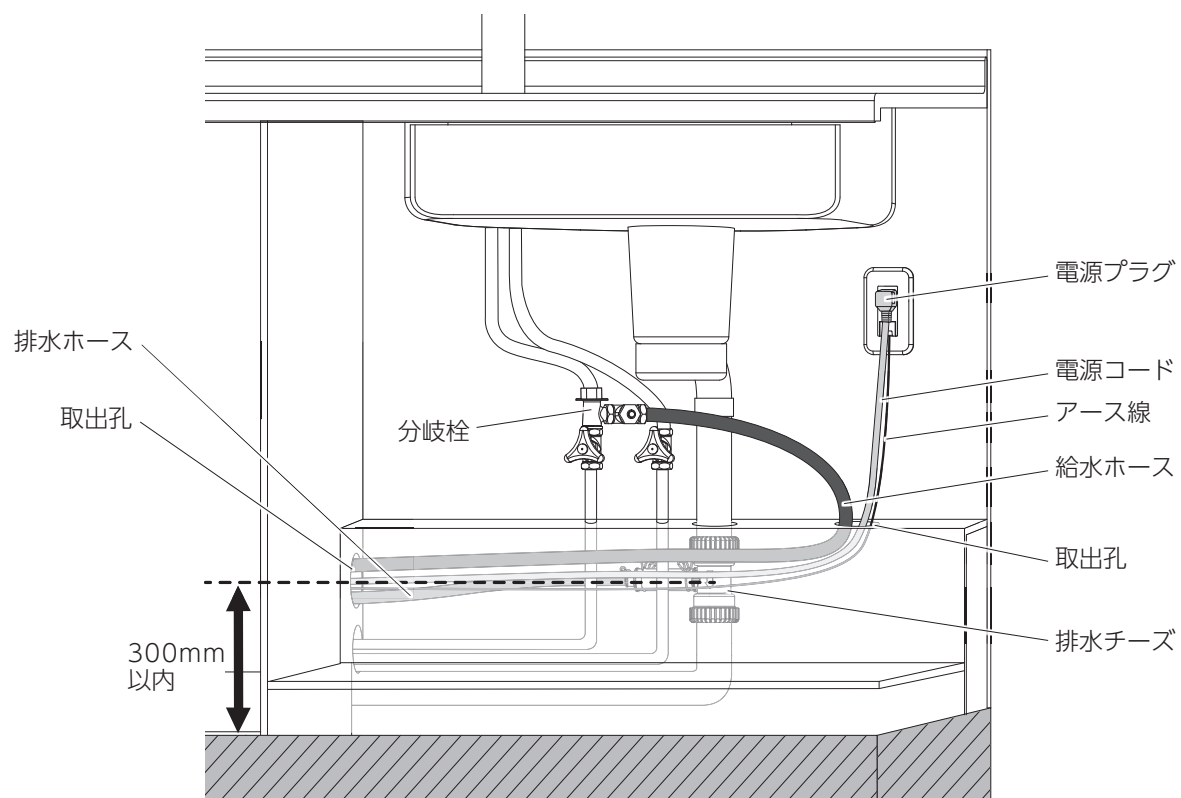
シンクキャビネット 配管スペース（高さ：100mm以下）がある場合

※ 排水ホースの高さが300mm以内になるように調整してください。



シンクキャビネット 配管スペース（高さ：250mm以上）がある場合

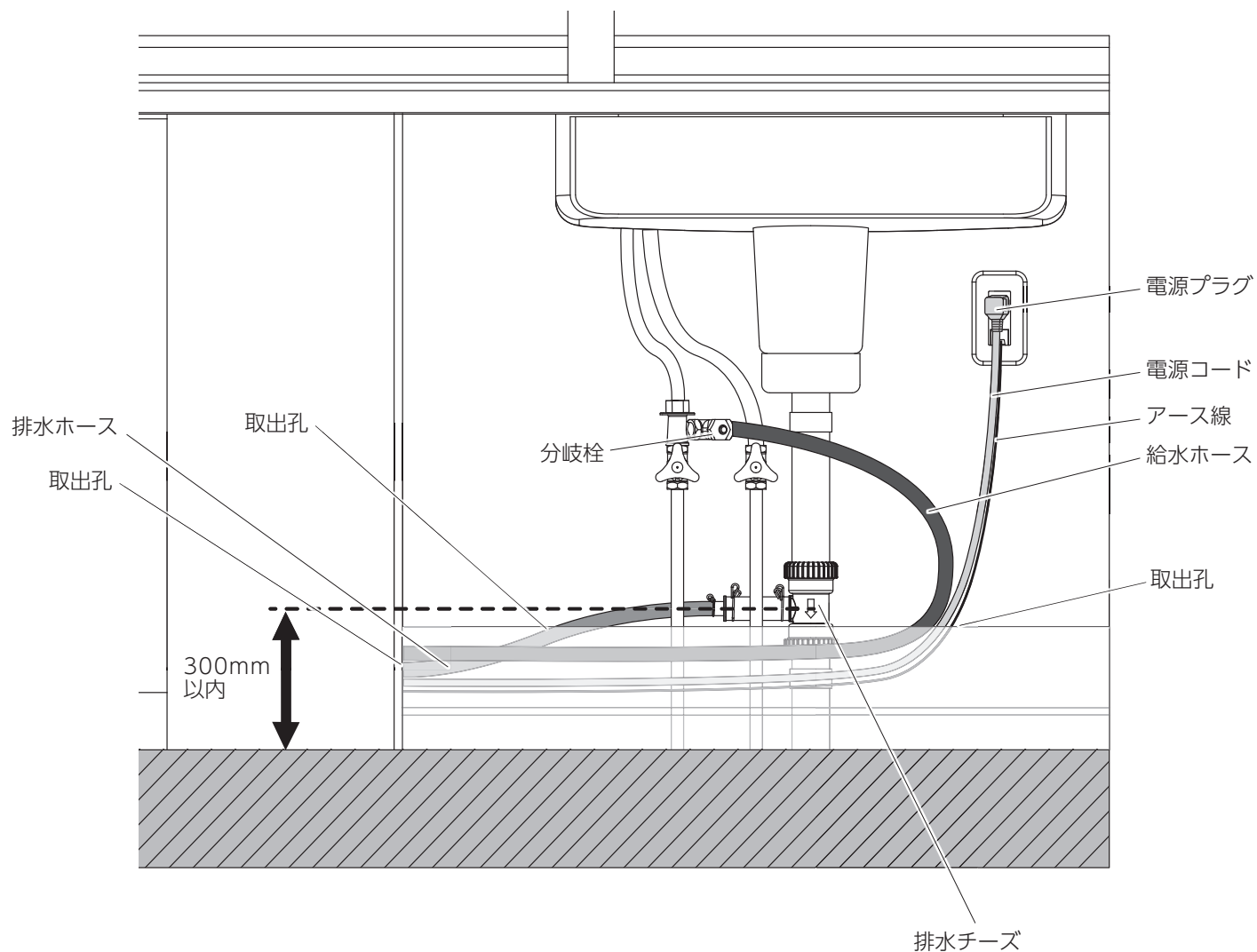
※ 排水ホースの高さが300mm以内になるように調整してください。



給排水接続 つづき

シンクキャビネット 配管スペース（高さ：100～250mm）がある場合

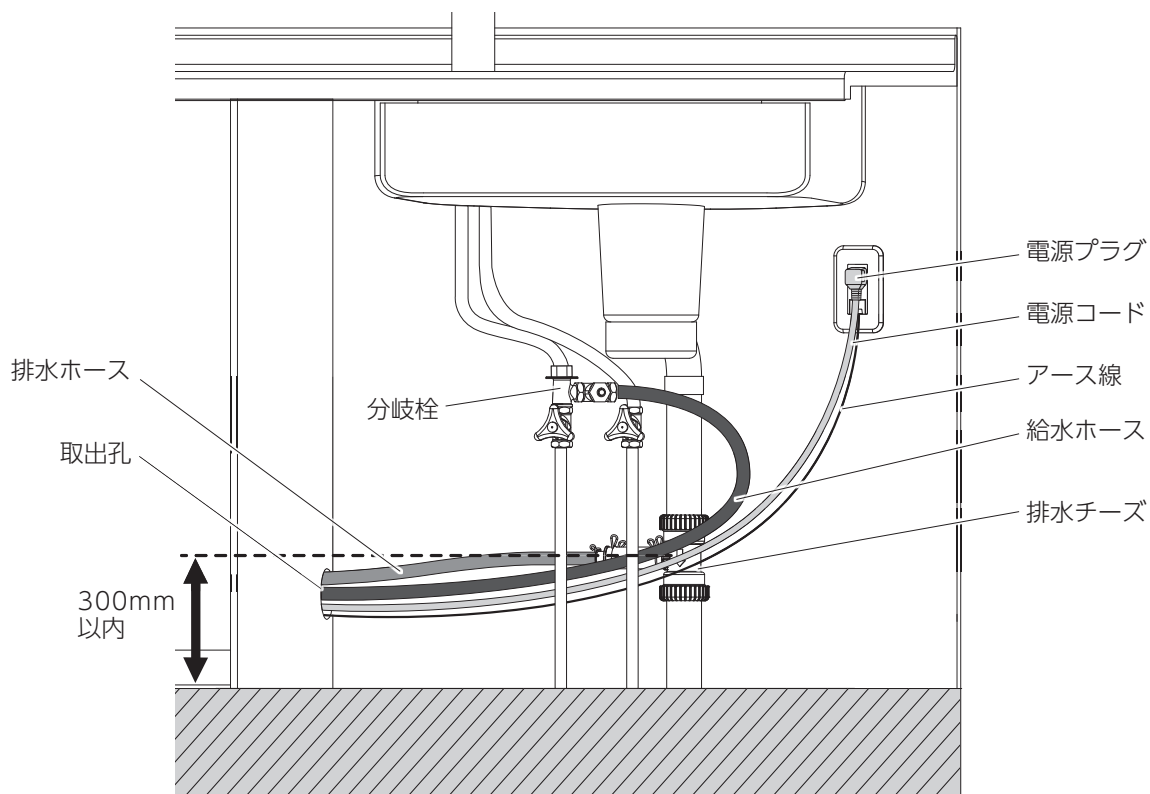
※ 排水ホースの高さが300mm以内になるように調整してください。



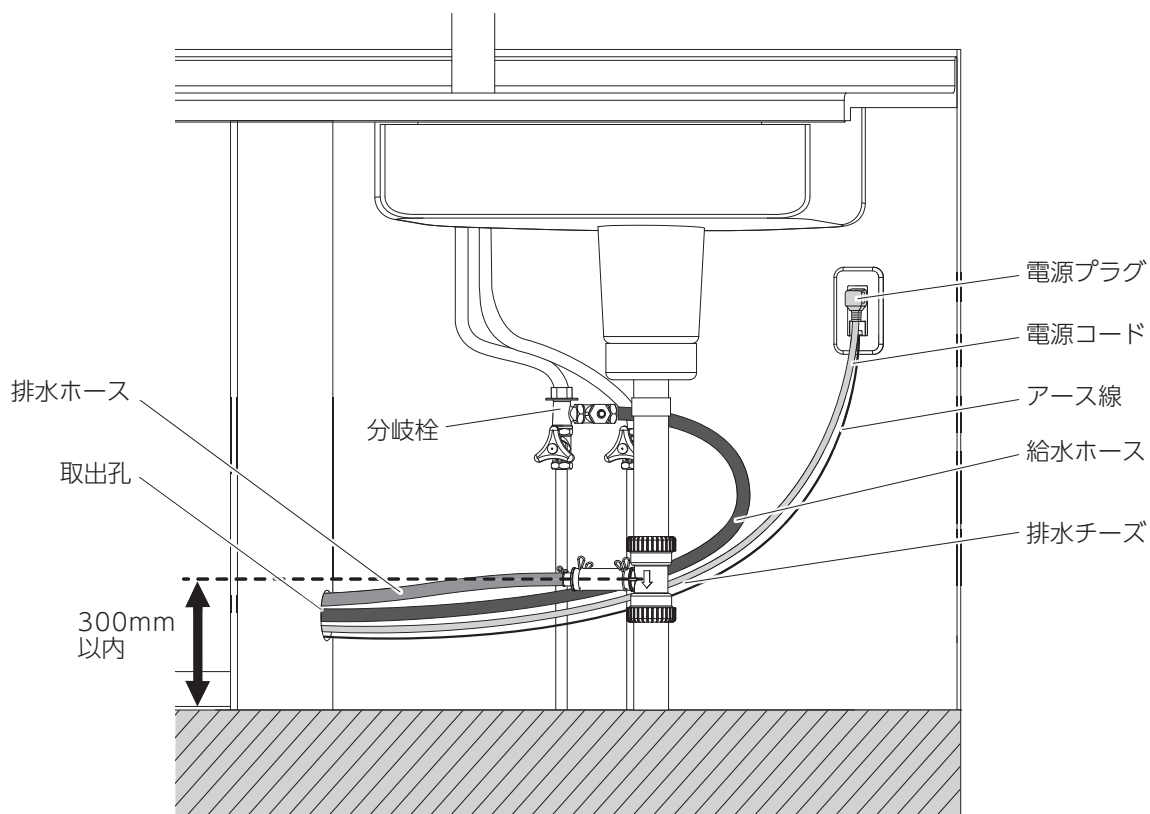
シンクキャビネット 配管スペースがない場合

※ 排水ホースの高さが300mm以内になるように調整してください。

排水管がシンクキャビネットの奥を通る場合

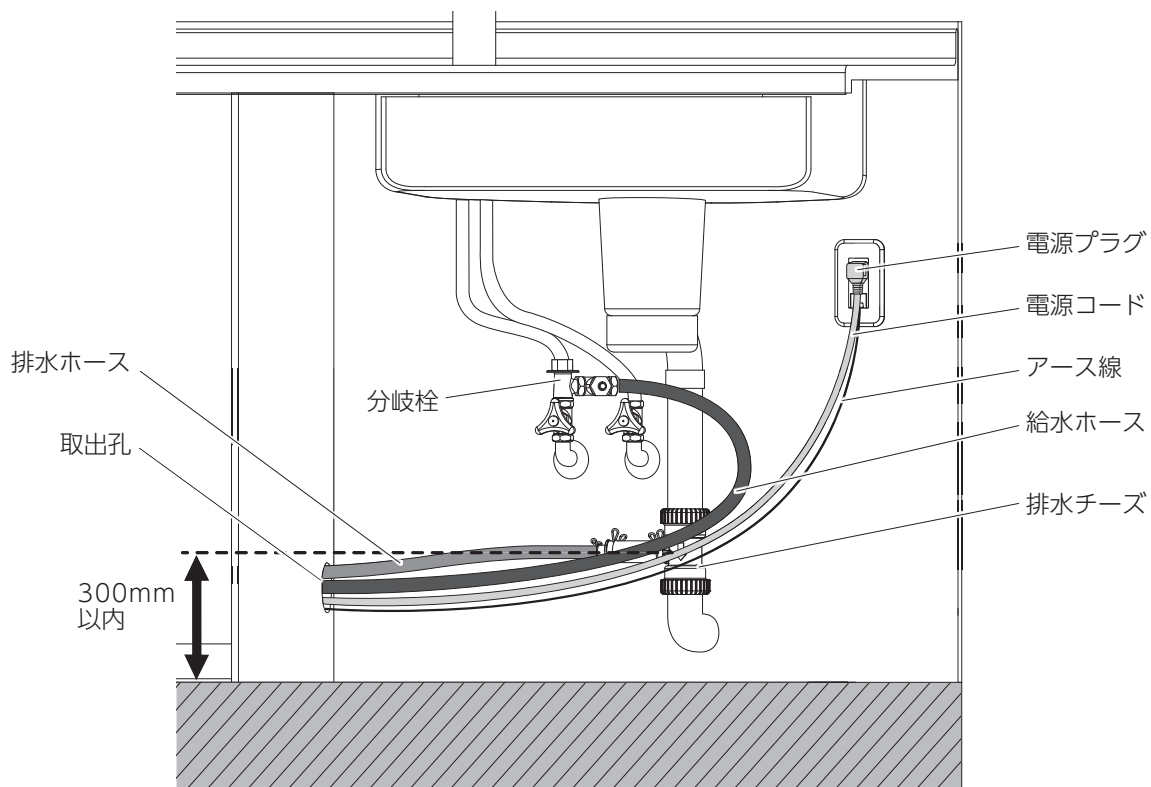


排水管がシンクキャビネットの中央を通る場合



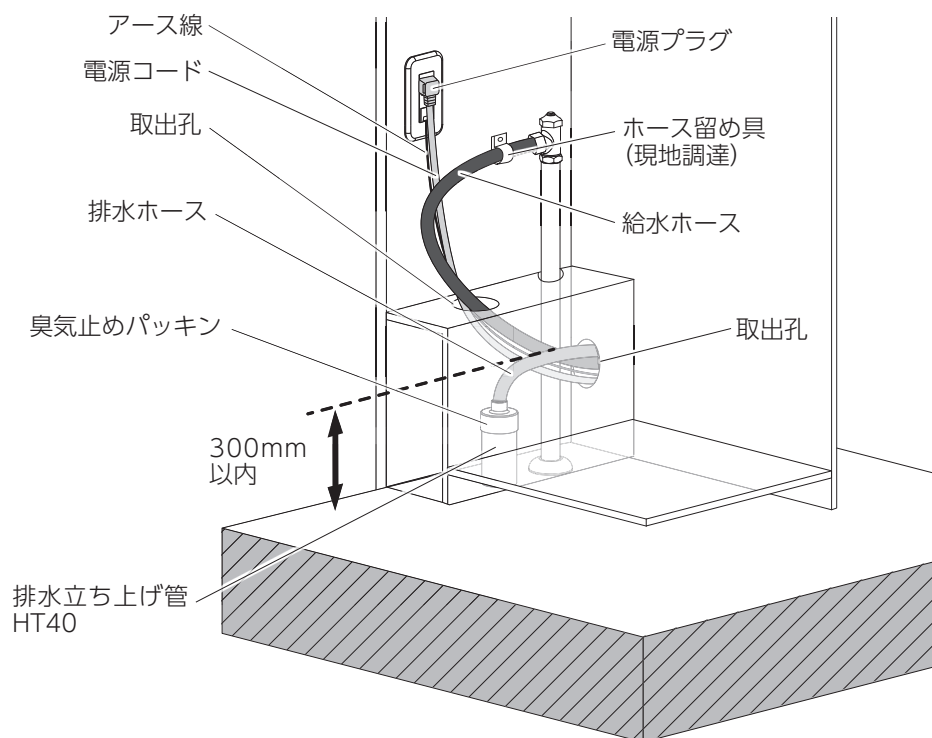
シンクキャビネット 壁出し配管の場合

※ 排水ホースの高さが300mm以内になるように調整してください。



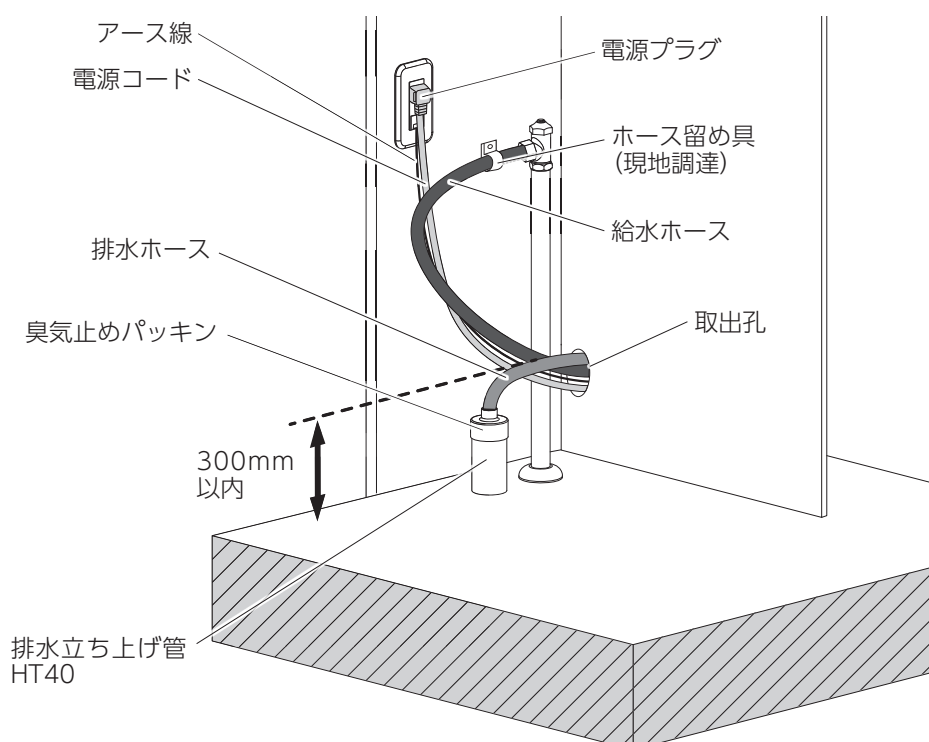
サイドキャビネット 配管スペースがある場合

※ 排水ホースの高さが300mm以内になるように調整してください。



サイドキャビネット 配管スペースがない場合

※ 排水ホースの高さが300mm以内になるように調整してください。



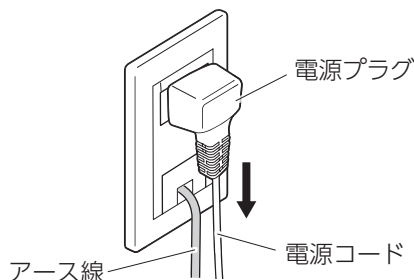
電気接続

電源プラグ、アース線の接続

- ① 電圧が100Vであることを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください
- ② アース線をアースターミナルに取り付けてください。



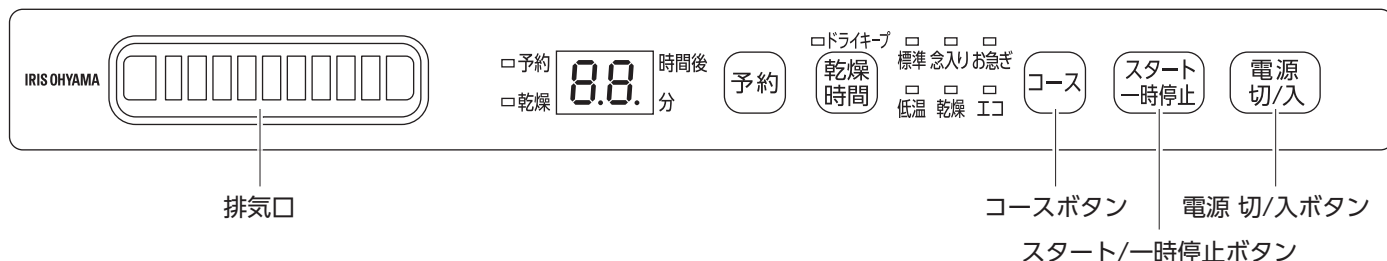
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
- 電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
- 電源プラグはコードが下方向に出るようにコンセントに差し込む
コードが上方向に出ますと、食器洗い乾燥機をビルトインしたとき、コードが傷付くことがあります。



試運転

- ①試運転を行う前に、庫内のテープやスポンジ緩衝材を取り除き、下かごを取り出す
 - ☒ 残さいフィルター、排水口カバーに緩衝材などのごみがたまっていないことを確認しました。
- ②止水栓を開く
 - ☒ 給水ホースの、給水口・本体との接続部に水もれがないことを確認しました。
- ③コースボタンで標準コースを選択し、約10分試運転を行う（排水・給水・洗浄の順で動作します。）
 - ※ 洗剤は使用しないでください
 - ☒ 水もれや、異常音がしないか、エラーが発生しないか確認する
 - ☒ 正常にバシャバシャ音がするか確認する
(バシャバシャ音＝一定数の水が入り、水を噴射しながら庫内のノズルが回転する音)
(上・下ノズルを切り替えるために、定期的に噴射音が止まりますが、異常ではありません。)
- ④電源 切/入 ボタンを2度押して電源を入れ直す
- ⑤コースボタンで乾燥コースを選択し、約5分試運転を行う（排水・乾燥の順で動作します。）
 - ☒ 水もれや、異常音がしないか、排気口から風がでるか、エラーが発生しないか確認する
- ⑥上記、各コースで問題が無ければ、電源 切/入 ボタンを2度押して電源を入れなおし、コースボタンで標準コースを選択した上で、再度電源 切/入 ボタンを押して電源を切る
 - ☒ お客様にお渡しする際、初期状態(標準コース)から始まるよう、必ず実施をしてください。
 - ☒ 試運転後は、庫内に残った水滴を拭き取って、下かごを戻してください。
 - ☒ 試運転後は、止水栓を開いたままにしておいてください。
 - ☒ 長期間、居住されない場合は、万一の水もれ防止のため、必ず家屋の元栓を閉めてください。

操作パネル



異常報知について

- ・試運転で以下のように表示部が点滅してブザーが鳴るときは下記内容を確認してください。

表示（前面操作部）	原因	処置
31	排水不良 残さいフィルターや排水口カバーの目詰まりによって、庫内の水が排水できないため。	①電源を「切」にして、残さいフィルターや排水口カバーにごみがないか確認してください。ある場合は取り除いてください。 ②電源を入れ、乾燥コースで運転をしてください。 ③直らない場合は、お買い上げの販売店もしくは、アイリスコールにご連絡ください。
41	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため。 給湯（給水）管内の異物が詰まり、給水ができないため。	・電源を「切」にする。 ・断水の場合は、断水の回復を待って運転する。 ・水道栓（元栓およびキャビネット内の止水栓）は必ず開栓する。 ・直らない場合は、お買い上げの販売店もしくは、アイリスコールにご連絡ください。
42	機内の水もれ不良 本体内部から水もれしている。	・水もれのおそれがあります。 ・至急お買い上げの販売店もしくは、アイリスコールにご連絡ください。 ・水道栓（元栓またはキャビネット内の止水栓）を閉めてください。 ・配電盤のブレーカーはOFFにしないでください。
43		
--	ドア閉め不完全もしくは一時停止中 運転中にスタート/一時停止ボタンを押した。 ※ ドアが完全に閉まっていない状態でスタート/一時停止ボタンを押すと、ブザー音でお知らせします。	・ドアを完全に閉めた状態でスタート/一時停止ボタンを押してください。 ・直らない場合は、お買い上げの販売店もしくは、アイリスコールにご連絡ください。
その他の表示 (21、52 など)	製品が故障しています 製品本体が故障しています。	・お買い上げの販売店もしくはアイリスコール（0120-311-564）にご連絡いただきエラー番号をお伝えください。

所有者・お客様への説明

●関連事業者（施工事業者）様へ

- ・取扱説明書によって、使用方法を説明してください。特に「安全上のご注意」「使用方法」をよく説明してください。
- ・保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しして、取扱説明書にしたがって、「保証・サービス」について説明してください。

●お客様への取り扱い説明

- ① 取扱説明書にそって製品の取り扱いを説明してください。
- ② 庫内に残さいフィルター、下かご、小物入れが入っていることを確認してください。
- ③ 保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

チェックリスト

・ 設置完了後、各項目を確認して、☒ の中に✓印を入れ、この設置説明書をお客様に渡してください。

- ☒ ドアの開閉時に他の機器やユニット・取っ手などに当たらないことを確認しましたか。（P7）
- ☒ 電源（電圧）銘板表示と使用電源が適合していますか。（P8）
- ☒ 給湯器との接続の場合 指定する給湯器に接続されていますか。（P9）
- ☒ 転倒防止金具・移動防止金具が固定されていることを確認しましたか。（P20）
- ☒ 給水ホース、排水ホース、電源コード、アース線を傷付けたり、破損したり、無理に折り曲げたり、挟み込んだり、していないことを確認しましたか。（P21）
- ☒ 給水ホースと止水栓との接続部にフィルター付きパッキンが入っていることを確認しましたか。（P27）
- ☒ 給湯（給水）管・排水管との接続部を確実に接続したことを確認しましたか。（P27、28、29）
- ☒ 排水ホースの高さが300mm以内であることを確認しましたか。（P28、29）
- ☒ 電源は専用回路で、交流100V、定格15A以上のアースターミナル付コンセントに単独で接続しましたか。（P36）
- ☒ アース線を接続しましたか。（P36）
- ☒ コンセントのゆるみや、電源コード・電源プラグに傷みがないことを確認しましたか。（P36）
- ☒ 電源プラグのコードが下方向に出るように差し込まれていることを確認しましたか。（P36）
- ☒ 試運転を行い正常に動作しましたか。（P36）

確認日： 年 月 日

確認者：

工事（施工）会社名：

問い合わせ先 電話番号：

仕様

電源	AC100 V (50/60Hz共用)
消費電力	洗浄モーター 50W/70W 洗浄ヒーター 800W 定格消費電力 850W/870W
質量	約25 kg (本体、かご、小物入れ)
外形寸法	幅298×奥行588×高さ805～855mm
電源コードの長さ	約1.9m
洗浄方式	回転ノズル噴射式
すすぎ方式	ためすすぎ
乾燥方式	ヒーターとファンによる強制排気乾燥
標準収納容量	上かご24点、下かご20点の標準食器が最大44点入ります。 上かご：ガラスコップ・湯飲み…7点 小皿…9点 茶わん・汁わん…8点 (合計24点) 下かご：大皿…直径24cm以下…6点 中皿…6点 小皿…4点 茶わん・汁わん…4点 (合計20点) はし…6組 スプーン…6本 フォーク…6本
専用洗剤の標準使用量	約8g
付属品	食洗機専用洗剤 (試供用)

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※ 実際に使用するときの消費電力量は、洗浄コースなどによって変わります。

※ 電源プラグを差し込んだ状態では電子回路を作動させるため、約1Wの電力を消費しております。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ
公認通販サイト



製品に関する
お問い合わせ

アイリスコール

0120-311-564

(通話料無料) 9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関する
お問い合わせ

修理専用コール

0800-170-7070

(通話料無料) 9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。